

漢 譯 對 照

梵 和 大 辭 典

文學博士 荻原雲來編纂

599-1568

監修 辻直四郎

下

新文豐出版公司 影印

中華民國六十八年十月初版

梵和大辭典

精裝貳冊定價新台幣壹仟伍佰元正

版權



所有

編纂者 荻原雲來博士

監修者 辻直四郎博士

編纂主任 大類純先生

發行人 劉修橋

發行所及 新文豐出版股份有限公司

公司：台北市雙園街九十六號
電話：三〇六〇七五七・三八二八六二四
門市部：台北市羅斯福路一段二十號八樓
電話：三四一五二九三・三四一五二九四
登記證：局版臺業字第四〇六四九號
郵政劃撥：一〇〇四四二二號

漢譯對照梵和大辭典

簡 目 一 覽

A	1	D	517
Ā	178	ḌH	518
I	223	Ṇ	518
Ī	232	T	519
U	236	TH	563
Ū	284	D	563
Ṛ	287	DH	627
E	291	N	652
AI	301	P	718
O	302	PH	902
AU	304	B	906
K	306	BH	941
G	409	M	982
GH	446	Y	1071
Ṇ	451	R	1104
C	451	L	1139
CH	482	V	1162
J	486	Ś	1302
JH	515	Ṣ	1364
Ñ	516	S	1366
T	516	H	1545
TH	517		

Puṣ, IV. ㊦ puṣyati [自動 および 他動]; IX. ㊦ puṣṇāti [他動, Ⅲ のみ] 繁栄する, 繁茂する, 繁昌する; 繁栄させる; 養う, 愛育する, 育てる; 支持する, 保持する; 増大する; 助長する; 更に栄誉あらしめる; (希望を) 満たす; (園) の増加するのを感じる, …を増す, 豊富に獲得する; 得る, (友を) 得る; 所有する, 持つ, 享受する; 発達させる, 拓げる, 開示する; 漢語 発; 増長; 養育 Av-ś., Bodh-c., Lanik. : cetanām puṣṇāti 発誓願 Av-ś. I.154. 過受分 puṣṭa 養われた; 栄養のよい, 強い; 繁栄した; 豊富な, 勝れた(繁昌); (園) に富んだ, …に恵まれた. 使役 poṣayati 飼養する, 養う, 愛育する, 食を与える; (園) によって食を与えしめる または飼養せしめる.

ut- IX. ㊦ utpuṣṇāti 十分に食べさせる, 肥えしめる; IV. ㊦ utpuṣyati 膨脹する.

pari- 過受分 paripuṣṭa 愛育された; (園, 一°) に富んだ; 増大した. 使役 paripoṣaya- 養う; 愛育する; 漢語 長養 Bodh-bh.

pra- 養う, 支持する; 漢語 長養, 増長 Lanik.

vi- 過受分 vipuṣṭa 栄養の悪い, 飢えた.

sam- IX. ㊦ sampuṣṇāti 増加する.

-puṣ ㊦ 養う, 繁栄させる; 獲得する; 開示する.

puṣkara ㊦ 青蓮華; 匙のくぼみ; 太鼓の皮; 象の鼻の先端; 水; 空気, 天空; [聖地の名(現今の Pokhar) しばしば 園]. 同名の三聖地すなわち jyeṣṭha, madhyama, kaniṣṭha の三地の称; [地界七洲 (dvīpa) の一の名]. 男 インド鶴 [学名 *Ardea sibirica*]; 園 飢饉を引き起す雲(の一種); [人名, とくに Nala の兄弟の名]; 漢語 [仏の名] 蓮華(台) Lal-v.

puṣkara-cūḍa ㊦ [地を支える四頭の象の一の名].

puṣkaratā ㊦ 漢語 花数 Gaṇḍ-vy.

puṣkara-dvīpa ㊦ [地界七洲の一の名]. → puṣkara.

puṣkara-nābha ㊦ [Viṣṇu 神の称].

puṣkara-pattra ㊦ 青蓮華の花弁.

puṣkarapattra-netra ㊦ 蓮の花弁のような眼をもつ.

puṣkara-parṇa ㊦ = puṣkara-pattra; [煉瓦の一種 (形の類似からこのように名づけられる)].

puṣkara-palāśa ㊦ = puṣkara-pattra.

puṣkara-bija ㊦ 蓮の種子.

puṣkara-mukha ㊦ 象の鼻の先端の孔.

puṣkara-viṣṭara ㊦ [Brahman 神の称].

puṣkara-sāri ㊦ 漢語 (直写) 布沙迦羅書, 仏迦蓮羅書 Lal-v. 125.

puṣkara-sārin ㊦ 漢語 [人名] 蓮花実 Divy.; 直写 弗袞婆 Divy.

puṣkara-sraj ㊦ 青蓮華の花環. ㊦ 青蓮華の花環を着けた.

puṣkarākṣa ㊦ 蓮華のような眼をした. ㊦ [諸人の名]; [Viṣṇu (Kṛṣṇa) 神の称].

puṣkarāgra ㊦ 象の鼻の先端.

puṣkarāranya ㊦ Puṣkara 聖地の中の森.

puṣkarārūṇi (°ra-ār°) ㊦ [王侯の名].

puṣkarāvati ㊦ [Gandhāra の主都の名].

puṣkarāvartaka (°ra-āv°) ㊦ 園 飢饉を引き起す雲

(の一種).

puṣkarāhva (°ra-āh°) ㊦ インド鶴 [学名 *Ardea sibirica*].

puṣkarikā ㊦ [人名].

puṣkarīṇi ㊦ 蓮のある池; 池; [Manu の母または祖母の名]; [Ulmuka の妻の名]; 漢語 池, 小池, 大池, 浴池, 池沼, 清涼池 Gaṇḍ-vy., Lal-v., Mvyut., Śikṣ., Sukh-vy. II., Suv-pr., 梵千., 梵羅.

puṣkarin ㊦ 青蓮華に富んでいる. ㊦ 象.

puṣkarekṣaṇa (°ra-ik°) ㊦ 青蓮華の眼をした. ㊦ [puruṣa とともに Viṣṇu (Kṛṣṇa) 神の称].

puṣkala ㊦ おびただしい, 豊富な; 多くの, 数多い; 富んだ, 優れた; 声高い, 反響する; 漢語 広大, 円満, 具足 Lanik., Mvyut. 男 太鼓(の一種); [Bharata の息子の名]; ㊦ 匙のくぼみ; [容積の一単位].

puṣkalaka ㊦ 麝香鹿.

puṣkalatā ㊦ 漢語 妙 Lanik.

puṣkalāvata ㊦ Puṣkalāvati の住民. ㊦ [Puṣkala すなわち Bharata の息子の住居の名].

puṣkalāvati ㊦ [町の名, = Puṣkarāvati].

puṣkalāvartaka (°la-āv°) ㊦ ㊦ = puṣkarāvartaka.

puṣkalettra ㊦ [村の名].

puṣkasa ㊦ [pulkasa の 不補].

puṣkirīṇi ㊦ 漢語 [= puṣkarīṇi] 池, 池沼, 涌泉 Av-ś., Divy.

puṣṭa 過受分 → Puṣ. 漢語 所増, 所園満, 増長, 増上, 長養 Abh-vy., Bodh-bh., Lanik. ㊦ (園) 財産, 富裕, 財(とくに子供および牛の).

puṣṭatā ㊦ 漢語 円満 Sātr.

puṣṭa-vipuṣṭa ㊦ ㊦ 良く養われたことと悪く養われたこと.

puṣṭāṅga ㊦ (因-i) 肥えた肢をもつ, 栄養のよい, 強壮な.

puṣṭi ㊦ 繁昌, 増加; 発達; 夥多, 豊富, 繁栄, 富[時には 園]; 養育, (牛等の)飼養; 漢語 増長, 増長求, 増益, 資益, 滋益, 長養, 生長; 円満 Abh-vy., Bodh-bh., Guhy-s., Lanik., Madhy-vibh., Sātr.

puṣṭi-kara ㊦ 生長または繁栄を起す, 養う.

puṣṭi-kāma ㊦ 繁栄または富裕を望む.

puṣṭi-da ㊦ 繁栄等を与える.

puṣṭi-pati ㊦ 富財の主.

puṣṭimat ㊦ 豊富な, 繁昌する, 繁栄する, 富裕な.

puṣṭi-mati ㊦ [ある Agni の名].

puṣṭi-vardhana ㊦ 繁栄を増す.

puṣpa ㊦ 花, [一° ㊦ (因-ā, 植物の名の後には通常 -i)]; 月経; 花やかな言葉, 婦人に対する慰慰, 愛の告白; 漢語 花, 華 Abh-vy., Aṣṭ-pr., Av-ś., Bodh-c., Gaṇḍ-vy., Lanik., Mvyut., Saddh-p., Sapt-pr., Śikṣ., Sukh-vy. I., Sātr., 梵千., 梵羅. 男 黄玉; [ある書物の名] (Divy.).

puṣpaka (園) ㊦ Kubera 神の車; 漢語 花 Lanik.

puṣpa-karaṇḍa ㊦ 花籠.

puṣpakaraṇḍodyāna (°ḍa-ud°) ㊦ [Ujjayini の近くの庭園の名].

puṣpaka-vimāna ㊦ = puṣpaka.

puṣpa-kāla 男 花の時、春；月経時。
 puṣpa-kāsisa 田 帯黄色の緑萼；**説** 黒簪 *Mṛyut.*
 puṣpa-kūṭa-dhāraṇi 因 **説** [経の名] (音写) 花積
 陀羅尼經 *Śikṣ.* [華積陀羅尼神呪經、花積樓閣陀羅尼
 經、花聚陀羅尼呪經、師子奮迅菩薩所問經]。
 puṣpa-ketu 男 緑簪で造った目薬；愛の神；[ある王子
 の名]；**説** [仏の名] 花幢、花英 *Lal-v.*
 puṣpa-grha 田 温室。
 puṣpa-granthana 田 花(環)を編むこと。
 puṣpa-cāpa 男 花の弓、*Kāma* 神の弓。男 [(花の弓
 を持った者)、*Kāma* 神の称]。
 puṣpa-citra 田 **説** [苑の名] 華敞、華莊敞、華飾
Aṣṭ-pr.
 puṣpa-danta 男 [(花の歯)、*Śiva* 神の称]；[*Śiva* 神
 または *Viṣṇu* 神の侍者の名]。田 [ある殿堂の名]；[ある
 宮殿の名]。
 puṣpa-danti 因 [ある *Rākṣasi* の名]；**説** 華齒 *Sa-*
ddh-p.
 puṣpa-dāman 田 花環。
 puṣpa-druma-kusumita-mukuṭa 男 **説** 華樹開敷
 冠、花樹満鬘 *Mṛyut.*
 puṣpa-dha 男 [Dhā] 種姓から追放された婆羅門の息
 子。
 puṣpa-dhanus 男 [(花の弓を持った者)、*Kāma* 神の
 称]。
 puṣpa-dhanvan 男 [同上]。
 puṣpa-dhvaja 男 **説** [仏の名] 花幢 *Sukh-vy. I.*
 puṣpa-nipāta 男 花吹雪。
 puṣpa-nyāsa 男 花の献供。
 puṣpa-paṭa 男 花の衣服。
 puṣpa-patrin 男 矢の代りに花を持った。
 puṣpa-puṭa 田 (男 *pūṭa*、女 *pūṭi*) 花のがく；**説**
 花堆、花壺 *Mṛyut.*
 puṣpa-pura 田 [花の都]、[*Paṭaliputra* の称]。
 puṣpa-puri 因 [同上]。
 puṣpa-peśala 男 花のように繊細な。
 puṣpa-phala 田 花と果実；**説** 花菓、華菓 *Saddh-p.:*
 ~ air upetaiḥ 多花菓、華実茂好 *Saddh-p. 325.*
 puṣpa-bali 男 花の献供。
 puṣpa-bāṇa 男 [(花の矢を持った者)、*Kāma* 神の称]。
 puṣpa-bhaṅga 男 花環、花糸。
 puṣpa-bhadra 男 [人名]。
 puṣpa-bhadraka 田 [森の名]。
 puṣpa-bhadrā 因 [河の名]。
 puṣpa-bhājana 田 花籠。
 puṣpa-bhūta 男 **説** 為(妙)華、為(淨妙)華 *Gaṇḍ-vy.*
 puṣpa-bhūti 男 [王侯の名]。
 puṣpa-maya 男 (因 *-i*) 花からなった、花で作られた。
 puṣpa-mātham 男 [Math とともに] 花のように圧しつ
 ぶして。
 puṣpa-mālā 因 花環。
 puṣpa-mālin 男 花環を着けた (*Jat-m.*)。
 puṣpa-mās 男 花の月、春。
 puṣpa-māsa 男 [同上]。
 puṣpa-mitra 男 [二人の王侯の名]。
 puṣpa-muṣṭi 男 **説** 盈掬持花 *Śikṣ.*

puṣpa-megha 男 花(を降らす)雲。
 puṣpameghī-Kṛ, 花を降らす雲に変える。
 puṣpaya 男 **説** 花が咲く。
 vi-, tena vipuṣpitaṃ 彼は微笑した (*Divy.*)。
 puṣpa-rakta 男 (一)の花のように赤い。
 puṣpa-ratha 男 (花車)、旅行または娯楽用の車。
 puṣpa-rāga 男 (花の色をもつもの)、黄玉；**説** 赤
 琥珀 *Mṛyut.*
 puṣpa-reṇu 男 花粉；**説** 飛華、衆華 *Lal-v.*
 puṣpa-lāvi 因 花を摘む女、花環を編む女、花売り。
 puṣpa-lipi 因 **説** (音写) 弗沙書、富沙富書、富致波
 書 *Lal-v.*
 puṣpa-loha 田 [宝石の一種]。
 puṣpavat 男 花のように。男 花の咲いた、花で飾ら
 れた。
 puṣpavati 男 (因) 月経時の(女)。
 puṣpa-vartman 男 [(花の路)、*Dṛupada* の匿名]。
 puṣpa-varṣa 男 [山の名]。田 花の雨。
 puṣpa-varṣaṇa 田 **説** 雨華 *Gaṇḍ-vy.*
 puṣpa-vahā 因 [河の名]。
 puṣpa-vāṭikā 因 花園。
 puṣpa-vāṭi 因 [同上]。
 puṣpa-vṛkṣa 男 開花した樹木；**説** 花樹、華樹
Gaṇḍ-vy.
 puṣpa-vṛṣṭi 因 花の雨；**説** 雨妙華 *Gaṇḍ-vy.*
 puṣpa-veṇi 因 花冠または花環；[河の名]。
 puṣpa-śakuna 男 [(花鳥)、学名 *Phasianus gallus*]。
 puṣpa-śayyā 因 花の臥床。
 puṣpa-śarāsana 男 [(花の弓を持った者)、*Kāma* 神
 の称]。
 puṣpa-śilimukha 男 [(花の矢を持った者)、同上]。
 puṣpa-śekhara 男 花環。
 puṣpa-śrī-garbha 男 [菩薩の名]。
 puṣpa-sāyaka 男 = puṣpa-śilimukha。
 puṣpa-sūtra 田 [*Sāmaveda* に関係する *Sūtra* の一
 種]。
 puṣpa-sraja 因 花環。
 puṣpa-hāsa 男 (花によって笑っている)、花園。
 puṣpākara (°pa-āk°) 男 花の豊富な；[māsa とともに]
 男 春。
 puṣpāgama (°pa-āg°) 男 (花の到着)、春。
 puṣpāgra 田 めしべ。
 puṣpānanāda 男 [村の名]。
 puṣpāpiṇḍa (°pa-āp°) 男 [ある *Gaṇḍharva* の名]。
 puṣpābhikīrṇa 男 花をふりかけられた；**説** 散花、
 鋪撒花相 *Mṛyut.*
 puṣpāmōda (°pa-ām°) 男 花の香り。
 puṣpāmbhas 田 [聖地の名]。
 puṣpāyudha (°pa-āy°) 男 [(花を武器として持っている
 者)、*Kāma* 神の称]。
 puṣpārāma (°pa-ār°) 男 花園。
 puṣpārṇa 男 [*Vatsara* の息子の名]。
 puṣpāvākīrṇa 男 **説** 種種雑花皆散布、散諸好華遍
 滿 *Suv-pr.* 男 [ある *Kiṃnara* 王の名] (*Kār-vy.*)。
 puṣpāvali-vana-rāji-kusumitābhijña (°pa-āv°) 男
説 [仏の名] 開敷花王智慧神通 *Lal-v.*

puṣpāsava (°pa-ās°) 罽 花の煎汁。
 puṣpāsāra (°pa-ās°) 罽 花の雨。
 puṣpiṇi 罽 因 月経時にある(女), 性交を望む(女)。
 puṣpita 罽 受分 花の咲いた, 開花した, 花の多い;
 花のようなしるしのある, 斑点のある; 満開した
 (罽); 完全に発展した, 完全に明白となった; 花
 やい(話=空虚な語); (罽, 一°) を具えた; 罽
 花, 有花, 花敷 *Abh-vy.*, *Mvyut.*, *Saddh-p.* 罽
 罽 [仏の名] 敷花, 開敷蓮花 *Lal-v.*
 puṣpita-palāśa-pratima 罽 花の咲いた Palāśa 樹に
 似た, (すなわち赤い斑点で覆われた)。
 puṣpita-vitāna 罽 罽 花帳 *Lal-v.*
 puṣpitāgra 罽 先端が花で覆われた。
 puṣpitāgrā 罽 [韻律の一種]。
 puṣpin 罽 花を持った, 花の咲いた, 花やい(言
 葉)。
 puṣpeṣu (°pa-iṣu) 罽 [(花の矢を持った者), *Kama*
 神の称]。
 puṣpotkaṭā 罽 [*Ravana* の母である *Rākṣasi* の名]。
 puṣpodakā (°pa-ud°) 罽 [地下界の河の名]。
 puṣpodbhava (°pa-ud°) 罽 [人名]。
 puṣpopajivin 罽 園丁, 花環を作る者。
 puṣpya 罽 罽 罽 花が咲く, 花開く。
 puṣya 1. 罽 滋養, 花 [=…の中の最上または最善の
 の]。
 puṣya 2. 罽 第六の月宿 [=古名 *tiṣya*]; 月が *Puṣya*
 宿(星座)にある日, *Puṣya* の日, *Paṣya* の月 [12月—
 1月]; [諸王侯の名]; 罽 [二十八宿の一] 鬼, 鬼
 宿, 熾盛 *Divy.*, *Mañj-m.*, *Mvyut.*; [仏の名] 増
 益仏 *Lal-v.*; 罽 [二十八宿の一] 沸, 仏(星), 李
 (星), 弗沙, 富沙, 布麗 *Lal-v.*, *Suv-pr.*, 玄応; [仏
 の名] 弗沙, 富沙 *Av-s.*, *Lal-v.*; [人名] 補瀼 *Divy.*
 puṣya-nakṣatra 罽 罽 鬼星日 *Suv-pr.*; (罽) 弗
 沙星, 布麗星日 *Lal-v.*, *Suv-pr.*
 puṣyanakṣatra-yoga 罽 罽 鬼宿日 *Lal-v.*; (罽)
 弗沙星合 *Lal-v.*
 puṣya-mitra 罽 [王侯の名]; 罽 (罽) 差友 *Divy.*;
 罽 弗沙蜜多羅, 弗沙密多羅, 弗沙密多 *Divy.*
 puṣya-ratha 罽 車としての *Puṣya* 宿; 娯楽用の車
 → *puṣpa-ratha*。
 puṣya-varman 罽 罽 [人名] 尾鯉星 *Divy.*; 罽
 弗沙跋摩, 弗舍摩 *Divy.*
 puṣyase 罽 [Puṣ の 罽 不定]。
 pusta 罽 罽 粘土細工, (粘土で)型どること; 塑像。
 pustaka 罽 罽 浮出し(飾り); 写本, 書物; 小冊子;
 罽 経, 經典, 經卷, 書; 竹帛 *Aṣṭ-pr.*, *Bodh-bh.*,
Mañj-m., *Saddh-p.*, *Śikṣ.*, 梵語: *sad-dharma* ~
 正法經典 *Śikṣ.* 139。
 pustaka-kara 罽 浮彫細工人。
 pustaka-karma-kṛta 罽 罽 經典 *Śikṣ.*
 pustaka-karman 罽 = *pustaka-kara*。
 pustaka-kṛt 罽 [同上]。
 pustaka-gata 罽 罽 經典, 所写經典, 經卷 *Aṣṭ-pr.*,
Bodh-bh., *Saddh-p.*
 pusta-karmāmaya 罽 罽 膠漆布 *Saddh-p.*
 pustakāvaropitaṃ-Kṛ 罽 書写 *Sukh-vy.* I.

pustakāstarāṇa (°ka-ās°) 罽 写本の包装。
 pustamaya 罽 粘土で作られた, 型どられた。
 pusta-varopeta 罽 罽 所司部録 *Lal-v.*
 pustikā 罽 写本, 書物。
 Pū, I. 罽 *pavate* (罽); IX. 罽 *punāti*, *punite*
 洗ひ清める, 澄ませる, 清浄にする; 純粹にする,
 罪を償う; 取捨する, 区別する(罽); 工夫する, 作
 製する(罽); 明らかにする, (心)を啓発する(罽);
 [罽はまた] 自己を清める; 清く流れる(水または *Soma*
 液); 償う; はらい清めるように動くまたは吹く;(風
 が)吹く; 清めるために(罽)を吹き通す。罽 *pa-*
vamāna それ自身を清める; 濾過器を通して流れる
 (*Soma*)。罽 *pūyate* (罪が)清められる, (罪から罽)
 清められる。罽 罽 *pūta* 清められた, 清浄にされ
 た, 清浄な; 脱穀された, (み(籾)で)吹きわけられ
 た。罽 罽 *pāvayati* 清くする。罽 罽 *pupūṣati*
 清めようと欲する。
 ā- 罽 清められて(罽)に流れるまたは(罽)の中に
 流れる;(罽)をして(罽)に流れさせる。
 ut- 清める, 清浄にする。
 niṣ- (穀粒を)吹き分ける; 清浄にする, 浄化する。
 pari- 罽; 清浄にする。罽 罽 *paripūta* 完全に
 清められた; 殻を去った(穀物)。
 sam- 清める, 清浄にする。
 pū 罽 (一°)清める, 清浄にする。→ *uda* ~, *ghṛta* ~。
 pūga 罽 組合, 団体; 群衆, 多衆; びんろうじゅ(檳
 榔樹) [学名 *Areca catechu*]; 罽 多 共集 *Abh-*
vy., *Mvyut.* 罽 檳榔子。
 pūga-pota 罽 若い檳榔樹。
 pūga-phala 罽 罽 檳榔子, 木腰子 *Abh-vy.*, *Mvyut.*
 pūga-yajña 罽 団体のために(行なわれる)祭式。
 pūga-yajñīya 罽 団体のために行なわれる 祭式に
 関する。
 pūga-vaira 罽 団体に對する敵対。
 pūgi-phala 罽 檳榔子。
 pūgi-latā 罽 檳榔樹。
 Pūj, [罽 罽] 罽 *pūjayati* 尊敬または崇敬をも
 つて扱う, 貴ぶ, ねんごろに迎える またはもてなす,
 (罽)をもって敬意を表する(を贈与する); 尊敬を
 払う; 罽 供養, 習近, 敬愛 *Abh-vy.*, *Bodh-bh.*,
Divy., *Lal-v.*, *Rāṣṭr.*, *Sapt-pr.*, *Sukh-vy.* I. 罽 罽
pūjita (罽)によって貴ばれた, 崇敬された; 尊敬
 をもって迎えられた, ねんごろにもてなされた;
 (一°)のためにまたはによって尊ばれた; 認められ
 た, 推挙された; (一°)によってしばしば往来さ
 れた; 入門を許された; (一°)を支給された。
 abhi- 罽 尊敬をもって接待するまたは迎える;(罽)
 をもって貴ぶまたは贈与する; …を尊敬する; 激賞す
 る; 罽 供養 *Bodh-c.*
 pari- 罽 …に高い尊敬を払う, 非常に尊敬する。
 pra- 罽 …に尊敬を示す, 尊敬する, 称賛する;
 恭しく(罽)を贈呈する; 罽 供養, 親近供養
Gand-vy.
 prati- 罽 尊敬で報いる, 尊敬をもって迎える, 正
 しく尊敬する; 恭しく(罽)を贈呈する; 嘉納する。
 sam- 罽 尊敬をもって迎える; …に尊敬を示す;

恭しく(國)を贈呈する；称讃する；**漢訳** 供養 *Divy.*, *Laṅk.*

pūjaka 形(五-ikā)(國, 一)を尊ぶ, …を尊敬する, …を崇拝する；**漢訳** 供養者 *Śikṣ.*: dharma〜供養法者 *Śikṣ.* 324.

pūjana 名(國, 一)の尊敬, …の崇拝, …のねんごろな接待；**漢訳** 供養, 供養事 *Gaṇḍ-vy.*, *Madhy-vibh.*, *Rāṣṭr.*, *Saddh-p.*, *Śikṣ.*: 〜arthāya(國)欲供養 *Saddh-p.* 161.

pūjanā 名**漢訳** 供養 *Dharm-s.*, *Mvyut.*

pūjani 名**漢訳** [Brahmadatta 王の友のあま雌鳥の名].

pūjaniya 来受分(國)によって崇拝または尊敬されるべき；尊敬・崇拝または敬重に値する；**漢訳** 敬奉, 当, 恭敬, 应当敬重, 供養悉応受, 為供養 *Bodh-bh.*, *Divy.*, *Sam-v.*, *Suv-pr.*: mahā-jana-kāyasya 〜h 為諸大衆供養 *Bodh-bh.* 29.

pūjayamāna 受分**漢訳** 供養 *Sat-pr.*

pūjayitavya 使役**来受分** = pūjaniya；**漢訳** 応供養 *Ast-pr.*

pūjayitr 名 崇拝者.

pūjā 名 尊敬, 敬意；敬意, 崇拝, 尊崇；礼拝, 供養；(一)ねんごろな接待；**漢訳** 供, 供養, 供具, 恭敬供養, 奉事, 奉獻, 愛敬, 思遇 *Abh-vy.*, *Bodh-bh.*, *Buddh-c.*, *Divy.*, *Gaṇḍ-vy.*, *Lal-v.*, *Laṅk.*, *Saddh-p.*, *Śikṣ.*, *Sūtr.*, *Suv-pr.*；所宗 *Lal-v.* 〜m **Kr** **漢訳** 奉施, 報恩供養 *Av-s.*, *Suv-pr.*: upārdhena dhanenāsyā 〜m kuryām 当以(所得)珍宝之半奉施彼(仏) *Av-s.* I. 23.；tasya 〜m kariṣyāmaḥ 報恩供養 *Suv-pr.* 178.

pūjā-kara 名(一)を尊敬する, …に敬意を表する.

pūjā-karman 名 尊敬の行為を表わす, 「尊敬」を意味する；**漢訳** 供養, 為供養, 供養事業 *Bodh-bh.*, *Śikṣ.*, *Suv-pr.* 〜m **Kr** **漢訳** 恭敬供養 *Suv-pr.*

pūjā-grha 名 崇拝の家, 殿堂, 寺院.

pūjādhikārika (°jā-ad°) 名 供養に関する；**漢訳** 〜m **Kr** 以諸供養具而為供養 *Bodh-bh.* 160.

pūjā-megha 名**漢訳** 供養雲 *Laṅk.*

pūjāraha (°jā-ar°) 名 名[=°rha] **漢訳** 所供養, 所敬養 *Lal-v.* 354.

pūjāriha (°jā-ar°) 名 名[=°rha] **漢訳** 応受供者, 堪受供養 *Śikṣ.* 259.

pūjārha (°jā-ar°) 名 尊敬または優遇に値する；**漢訳** 可供養, 所応供, 可恭敬, 所應恭敬 *Abh-vy.*, *Daś-bh.*

pūjārhattva 名 尊敬または優遇に値すること, 供養に値すること；**漢訳** 應恭敬供養 *Bodh-bh.*

pūjā-vidhi 名 尊敬の表示.

pūjā-vyūha 名**漢訳** 供具, 莊嚴諸物 *Ast-pr.*

pūjā-sambhāra 名 = pūjopakaraṇa.

pūjā-sthāna 名 崇拝の対象.

pūjita 過去分 → Pūj. **漢訳** 所奉, 供養, 得供養, 所応供, 所恭敬, 恭敬供養 *Gaṇḍ-vy.*, *Rāṣṭr.*, *Saddh-p.*, *Śikṣ.* *Sukh-vy.* I. 中 [地名] (*Divy.*).

pūjitaka 名 [同上 中]；**漢訳** [城の名] 恭侍 *Divy.*

pūjita-pūjaka 名 崇拝されたものを崇拝する.

pūjopakaraṇa (°jā-up°) 名 敬意を表するのに必要

な物, 神を供養するのに必要な物.

pūjopasthāna (°jā-up°) 名**漢訳** 供養, 供事, 供養恭敬 *Bodh-bh.*, *Śikṣ.*, *Suv-pr.*

pūjya **来受分** 尊敬または崇拝されるべき；尊ぶべき, 崇拝すべき；[國, 國, 一°とともに] 崇拝または尊敬を受けるに値するに値する；**漢訳** 供養, 応供, 受供 *Bodh-bh.*, *Lal-v.*, *Śikṣ.*, *Sūtr.*

pūjyatama 名 最も崇拝に値する.

pūjyatā 名 尊敬されるべきこと.

pūjyatva 名 [同上]；**漢訳** 供養, 所供養, 所奉供養 *Bodh-bh.*

pājya-pūjā-vyatikrama 名 崇拝すべきものを崇拝するに怠慢なこと.

pūjya-pūjita 名**漢訳** 堪供養, 応供養所供養 *Mvyut.*

pūjyamāna 名**来受分** **漢訳** 供養 *Laṅk.*

pūt, [吹く音の 聲音].

pūta 1. 過去分 → Pū. **漢訳** 頤 *Divy.*

pūta 2. 名 [Pūy 参照] 腐敗した, 悪臭のある, 悪臭を発する；**漢訳** 腐朽 *Śikṣ.* 212.

pūtātā 名 清浄.

pūta-dakṣa 名 清浄な意力をもつ.

pūta-dhānya 名 脱穀された穀物を含む.

pūtana 名 惡魔(の一種), 妖怪；**漢訳** 鬼, 臭者 *Laṅk.*, *Mvyut.*；鼻 鼻；**漢訳** 富車那, 富多那, 布怛那, 福車那, 福多羅 *Laṅk.*, *Saddh-p.*, 代難., 玄應.

pūtanā 名 [一種の小児病を起し *Kṛṣṇa* 神に殺された女惡魔の名].

pūtanātva 名 Pūtanā の性質.

pūtanāya 名 名 **漢訳** pūtanāyati Pūtanā を表現する.

pūtanikā 名 = pūtanā.

pūta-pāpa 名 罪を清められた.

pūta-pāpman 名 [同上].

pūta-bhṛt 名 [浄化した Soma を容れる器の一種].

pūta-mūrti 名 形または身体の洗い清められた, 清くなった, 清められた.

pūtaṃ-manyā 名 自ら清浄であると考え.

pūta-svabhāva 名 清浄な本質または自性.

pūti 1. 名 [Pū] 浄化, 清浄.

pūti 2. 名 [Pūy] 惡臭を発する, 腐敗した；**漢訳** 臭, 臭穢, 穢；敗, 腐敗, 朽敗, 陳朽；壞；爛, 爛壞 *Abh-vy.*, *Divy.*, *Mvyut.*, *Saddh-p.* 名 膿, 膿汁；**漢訳** 膿 *Mvyut.*

pūtika 名 [同上 名]；**漢訳** 摧朽 *Saddh-p.* → a〜.

pūti-kaṣevara 名**漢訳** 穢身 *Divy.*

pūti-kāya 名**漢訳** 身臭穢(膿流不可愛) *Suv-pr.*

pūti-kuṇapa 名 腐敗した死屍；**漢訳** 死屍 *Gaṇḍ-vy.*

pūti-gandha 名 惡臭, 臭氣.

pūti-gandhika 名 惡臭のある；**漢訳** 臭 *Śikṣ.*

pūti-nāsika 名 惡臭のある鼻をもつ.

pūti-bija 名**漢訳** 種子爛壞 *Mvyut.*

pūti-bhāva 名 腐敗物.

pūti-mukta 名 名 煎藥；**漢訳** 陳藥 *Divy.*, *Mvyut.*；藥查 *Mvyut.*

pūtimukta-bhaiṣajya 名**漢訳** 陳藥藥, 醫藥 *Mvyut.*

pūti-mukha 名**漢訳** 口臭臭 *Saddh-p.*

pūti-mṛttika 名 [(惡臭を発する地をもつ), ある地獄

の名]。

pūti-vaktra 𑖦 悪臭を発する息(口)をもつ。

pūti-vaktratā 𑖦 [同上 𑖦]。

pūti-vāta 𑖦 屁。

pūty-aṇḍa 𑖦 [(悪臭を発する卵をもつ), 悪臭を発する羽虫の一種]。

pūpa 𑖦 菓子; 𑖦 菜, 𑖦 Divy. → a ~。

pūpalikā 𑖦 ふくろ(囊)に入れてあぶりまたは煮た特殊な菓子 (Av.ś.); 𑖦 餅 Av.ś.

pūpa-sāla 𑖦 菓子を焼く場所。

pūpikā 𑖦 飲器 (?); 菓子(の一種)。

Pūy, I. 𑖦 pūyati 腐敗する, 悪臭を発する。

ā- 悪臭を発するに至る。

pūya 𑖦 田 膿, 膿汁; 𑖦 膿, 膿汁 Bodh-bh., Bodh-c., Mvyut., Śikṣ., 梵語。

pūya-nadi 𑖦 膿河 Vijñ-v.

pūya-bhuj 𑖦 化膿した尻を喰う。

pūyamāna, [Pū の 𑖦 受分]。

pūya-sonita 𑖦 敗血, 膿汁; 𑖦 膿血, 膿血(不浄) Divy., Śikṣ.

pūra 𑖦 満ちた; 満足させる; 𑖦 満, 盛満 Divy. 𑖦 充滿; 満足; 河または海洋の増益; 多量の水, 洪水, 流れ [しばしば水または他の流動体を表わす語とともに 一]; (一)の過剰, …の高い程度; 菓子; 鼻でゆるやかに息を吸入すること [苦行の一種]; 𑖦 満水, 決決(決?) 乎満水 Mvyut. → mukha ~。

pūraka 𑖦 (圖, 一)を満たす, …を充滿する, …を完成する; 成就する, 満足させる。𑖦 流れ, 流出; 乗数; 鼻からゆるやかに息を吸うこと [苦行の一種]; くえん(拘羅)樹。

pūraka-piṇḍa 𑖦 𑖦 (祖靈祭の)終末に献げられる祭餅。

pūrakāpūpa 𑖦 [菓子の一種]。

pūraṇa 𑖦 (因-i) 満たす; かなえる, 満足させる; 産出する; 𑖦 円満 Mvyut., Śikṣ. 𑖦 [(数を満たすものまたは完成するもの), (dvitiya 以上の)序数]; 𑖦 𑖦 [人名] 富蘭那, 富樓那, 布刺拏, 喃刺拏, 拏刺拏 Abh-vy., Av.ś., Divy., 玄應.: ~h kāśyapaḥ 護光究竟; 𑖦 富蘭那迦葉, 喃刺拏迦葉波 Mvyut. 𑖦 満たすまたは充滿させる動作; (弓を)完全に引き絞ること; 成し遂げること, 満足させること; 準備を整えること; 𑖦 円満, 成, 達 Abh-vy., Madhy-vibh., Sātr.

pūraṇa-pratyaya 𑖦 序数を作る接尾辞=suffix (文法)。

pūraṇiya 𑖦 受分 満たされるべき, 供給されるべき; 充滿せしめられるべき, 満足せしめられるべき。

pūraya, [Pr 1. の 𑖦 受分]。

pūrayitavya 𑖦 受分 満たされるべき, 完成されるべき; 満足させられるべき。

pūrayitr 𑖦 (圖)を満たす人; 成し遂げる人, 満足させる人。

pūrārgha 𑖦 𑖦 満足 Śikṣ.

pūrikā 𑖦 菓子(の一種)。

pūrta 𑖦 受分 満たされた; 強調された(音); 吹奏された(法螺貝); 𑖦 満足, 令充滿;

積 Rāstr., Śikṣ.

-pūrin 𑖦 (一)を満たす; 成し遂げる。

pūru 𑖦 人(?); [ある 種族の名]; [ある 王侯の名, Yayāti の息子]; [ある Veda 讃歌の作者の名]。

pūruṣa 𑖦 [=puruṣa]。

pūrotpiḍa (°ra-ut°) 𑖦 急激な増水。

pūrṇa 𑖦 受分 満たされた, 満ちた。→ Pr 1. 𑖦

満, 充滿, 盛満, 溢満, 充徧, 盈; 満足; 具足 Bodh-bh., Divy., Lal-v., Rāstr., Saddh-p., Śiv-pr., 𑖦

𑖦 [樹の一種]; [拍子の一種]; [ある Nāga の名]; [ある Devagandharva の名]; 𑖦 [人名] 円満 Divy.; 𑖦 [仏弟子の名] 富婁那, 富樓那, 分婁 Lal-v., Saddh-p., 玄應. ~o maitrāyaṇi-putrah

𑖦 [仏弟子の名] 満慈子, 満願子, 満見子, 満嚴飾女子 Aṣṭ-pr., Sapt-pr., 玄應.; (𑖦)富樓那

弥多羅尼子, 𑖦 𑖦 Aṣṭ-pr., 玄應.; 𑖦 富那曼陀弗多羅, 𑖦 𑖦, 𑖦 𑖦 梅伍黎夜富多羅 玄應. → pūrṇa-maitrāyaṇi-putra.

pūrṇaka 𑖦 [樹の一種]; [青色の懸渠 (?); 𑖦 [人名, =Pūrṇa] 円満 Divy.

pūrṇa-kāma 𑖦 欲望の満たされた。

pūrṇa-kumbha 𑖦 (水の)満ちた水差し [±apām]. 𑖦 𑖦 (特殊な形の)壁穴。𑖦 充滿した水差しを持った。

pūrṇa-gātra 𑖦 𑖦 身充滿, 飽 Mvyut.

pūrṇa-candra 𑖦 満月; 𑖦 満月 Rāstr.; [菩薩の名] 満月 Saddh-p.

pūrṇacandra-nibha 𑖦 満月に似た。

pūrṇacandra-prabhā 𑖦 𑖦 明月光, 明浄月光明, 凝光如満月 Gand-vy.

pūrṇacandra-prabhā 𑖦 満月の光。

pūrṇacandra-maṇḍala 𑖦 𑖦 盛満月 Gand-vy.

pūrṇatā 𑖦 充滿; 夥多; 𑖦 増 Saddh-p.

pūrṇatva 𑖦 [同上]; (一)に満ちたこと; 𑖦 満, 盈満 Mvyut., Sapt-pr., Śivik-pr.

pūrṇa-pātra 𑖦 満ちた器, 器一杯 [また容積の單位]. 𑖦 (善い知らせをもたらし者に与える衣類等の)贈物。

pūrṇapātra-pratibhaṭa 𑖦 充滿を競う=呑れる, この上ない(榮譽)。

pūrṇa-pātramaya 𑖦 (因-i) 充滿した器からなる, pūrṇa-pātra と称する容積からなる; ただそれだけの(言葉)。

pūrṇapātra-vṛttīyā 𑖦 満ちた器にならって, たくさんに。

pūrṇa-pātri 𑖦 =pūrṇa-pātra (男)。

pūrṇa-bhadra 𑖦 [ある蛇形の悪魔の名]; 𑖦 満賢 (王) Śiv-pr., 𑖦 富那跋陀 Śiv-pr.

pūrṇa-maṇḍala 𑖦 全円。

pūrṇa-mānasa 𑖦 心の満足した。

pūrṇa-mās 𑖦 満月。

pūrṇa-māsa 𑖦 満月; 満月の時に行なわれる祭式; [人格化された満月 = Dhātṛ および Anumati の息子]; [Kṛṣṇa 神の息子の名]。

pūrṇa-māsi 𑖦 満月の日または夜; 𑖦 十五日, 十五夜 Gand-vy., Sam-r.: ~syām rātrau 十五夜

Gaṇḍ-vy. 26.

pūrṇa-mukta ㊦ 完全に引き絞られた弓で射られた(矢).

pūrṇa-mukha ㊦ 充滿した口; ㊦ 両頬を膨ませて(吹く). ㊦ [(満ちた顔ををした), ある蛇形の悪魔の名].

pūrṇa-muṣṭi ㊦ 手一杯.

pūrṇa-maitrāyaṇi-putra ㊦ 漢訳 [仏弟子の名] 満慈子, 満願子 *Aṣṭ-pr., Mvyut., Sukh-vy. I.*; (音写) 富婁那弥多羅尼子, 富樓那弥多羅尼子, 邠穉文陀尼子 *Lal-v., Mvyut., Saddh-p.*; (音写) 布刺拏梅邠麗行那尼弗咀羅 *Mvyut.* → pūrṇa.

pūrṇa-yūna ㊦ 漢訳 盛年時, 少壯人 *Abh-vy.*

pūrṇa-yoga ㊦ [戦闘の一種].

pūrṇa-yauvana ㊦ 青春の盛りにある.

pūrṇa-ratha ㊦ (完全な戦車をもつ者), 秀でた戦士.

pūrṇa-lakṣmika ㊦ 光輝または富に満ちた.

pūrṇa-vapus ㊦ 完全に円い(月).

pūrṇa-viṃśati-varṣa ㊦ 満二十歳の.

pūrṇa-śaśāṅka ㊦ 漢訳 満月 *Suv-pr.*

pūrṇaśaśāṅkopama (°ka-up°) ㊦ 漢訳 如満月 *Suv-pr.*

pūrṇa-śrī ㊦ 豊かな富をもつ.

pūrṇāñjali ㊦ 両手一杯.

pūrṇātman (°ṇa-āt°) ㊦ [恐らくは prāṇātman の誤り].

pūrṇānanda (°ṇa-ān°) ㊦ 完全な喜び.

pūrṇāpūrṇa ㊦ ㊦ ㊦ (ある時は)十分で(ある時は)不十分な(量).

pūrṇāmṛtāṃśu-vadana ㊦ 満月のような容貌をもつ.

pūrṇāyata (°ṇa-āy°) ㊦ ㊦ 十分に引き絞られた弓.

pūrṇārtha ㊦ 目的を達した, 望みの満たされた.

pūrṇāhuti (°ṇa-āh°) ㊦ 完全な供物, 祭匙一杯の供物; 漢訳 満杓供, 火供杓子 *Mvyut.*

pūrṇika-sūtra ㊦ [仏典の題名].

pūrṇikā ㊦ [鳥の一種, nāsā-chinni ともし嘴の重なったまたは裂けたものと伝えられる, 懸巢(鳥)類の一種(?)].

pūrṇiman ㊦ [*Marici* の息子の名].

pūrṇimā ㊦ 満月の日または夜.

pūrṇimā-dina ㊦ 満月の日.

pūrṇimā-rātri ㊦ 満月の夜.

pūrṇimā-sarvari ㊦ [同上].

pūrṇi-Kṛ, 満たす, 完全にする.

pūrṇeccha (°ṇa-ic°) ㊦ (その)欲望の満たされた.

pūrṇendu (°ṇa-in°) ㊦ 満月.

pūrṇendu-vadana ㊦ 満月のような容貌をもつ.

pūrṇotsaṅga (°ṇa-ut°) ㊦ 臨月の.

pūrṇoda (°ṇa-uda) ㊦ 十分な河床をもった(河).

pūrṇopamā (°ṇa-up°) ㊦ 完全な譬喩 [四個の要素を全部具えた直喩, *luptopamā* の対].

pūrta ㊦ ㊦ → Pr 1. 満たされた; 与えられた; かなえられた. ㊦ 譲与; 報酬; 功績; (婆羅門に食を施す, 井戸を掘る等の)慈善的行為.

pūrtaya 名動 ㊦ pūrtayati [dharma とともに] 慈善行為をする.

pūrṭi ㊦ 満たすこと, 完成; 成就; 報酬.

pūrṭi-kāma ㊦ (一)を完成せんことを望む.

pūr-devi ㊦ 町を守護する女神.

pūr-dvāra ㊦ = pur-dvāra.

pūr-bhid ㊦ 城砦を破壊する.

pūr-bhidya ㊦ 城砦の破壊.

pūrya ㊦ ㊦ ㊦ 満たされるべき, 満足させられるべき.

pūrva ㊦ 前に在る, 前の; 前面の, 東の; (㊦)の東に在る; 先行する; 先の, 以前の; (㊦, 一)より以前の; 昔の, 伝統の, 往時の; (系列の中の)第一の; 最も低い(科料); あらかじめまたは初めに述べられたまたは挙げられた; [きわめて通常 ㊦ ㊦]の後に附して] あらかじめまたは前に [㊦ *drṣṭa* ~ 前に見られた]; 一° ㊦ …を先行する事物としてもつ㊦に先行された, …に伴われた, …に基づいた; 漢訳 前, 先, 在先; 先発, 先来, 従先来; 先時, 先世, 昔, 古昔, 往昔, 宿, 宿世, 過去; 曾, 夙, 旧; 初, 始, 本, 元宗, 源宗 *Abh-vy., Aṣṭ-pr., Bodh-bh., Buddh-c., Gaṇḍ-vy., Lal-v., Lan̄k., Madhy-v., Madhy-vibh., Mvyut., Nyāy-pr., Rāṣṭr., Saddh-p., Saṃkhy-k., Sapt-pr., Śikṣ., Suv-pr., Vajr-pr., Vijñ-t.,* 梵千., 梵維.; 東 *Gaṇḍ-vy., Lal-v., Mvyut., Saddh-p.,* 梵千., 梵維.; [= ~ m] 久 *Saddh-p. 326.*: ~ e cakṛta-puṇyatā 先作福, 宿作福 *Mvyut.*; ~ ā dig avan-amati paścimā dig unnamati 東方低西方高, 東方没西方涌 *Mvyut.*; āditya ~ (太陽を祖先とする, 日系の)日光之元宗, 日光之源宗 *Buddh-c.*: na drṣṭa ~ ān paśyāmi 昔所未見而今始見 *Gaṇḍ-vy. 294.* → a ~, ānu ~, bhūta ~. ~ e vayasī 幼時に. ~ m ㊦ 前に, あらかじめ, 以前に, すでに; 第一に; 往時に, 久しい以前に [時として ㊦ とともに用いる]; 漢訳 先, 向; 本, 前世, 従昔来 *Abh-vy., Aṣṭ-pr., Av-ś., Bodh-bh., Bodh-c., Lal-v., Saddh-p., Sūtr. adya* ~ m 今日に到るまで. 一° また ~ eṇa ㊦ ㊦ …に従って. …の中に, 後に, ともに [㊦ が前にある時は = …なしに]. ㊦ ㊦ 古人, 先祖, 祖先; ㊦ 兄. ㊦ 前部.

pūrvaka ㊦ (㊦-ikā) 以前の, 先行の, 先の; 第一の; 一° …に伴われたまたは先行された, …に基づいた, とりわけ…に依存する; 漢訳 先, 前, 為先, 為首, 先依, 前行, 已; 宿, 宿世, 過去, 過去世; 創; 本, 本得 *Abh-vy., Aṣṭ-pr., Bodh-bh., Divy., Lal-v., Lan̄k., Nyāy-pr., Saṃkhy-k.*; 待 *Lan̄k.*: bhāṣita ~ 已宣説 *Lal-v. 5.* ~ m ㊦ (一)の後に, …とともに, …の中に, …に従って; 漢訳 為先 *Nyāy-pr., Saṃkhy-k.* ㊦ 先祖, 祖先.

pūrvaka-jñāna ㊦ 漢訳 宿智, 本得智慧 *Bodh-bh.*

pūrva-karma-kṛta-vādin ㊦ 過去の行為のみが現在の行為を決定すると説く学徒 (*Jat-m.*).

pūrva-karmā-ja ㊦ 漢訳 宿業所生 *Abh-vy.*

pūrva-karman ㊦ 先のまたは前世の行為; 準備; 漢訳 宿業, 宿世業, 宿世所修習業, 宿因 *Aṣṭ-pr., Bodh-bh., Sūtr., Suv-pr.*

pūrvakarma-vipāka ㊦ 漢訳 宿世(悪)業受応, 過去諸業報応, 由先世業力得 *Aṣṭ-pr., Sūtr.*

pūrvakalpa ㊦ 前の習慣, 先例; 昔時, 過去 [㊦ ㊦]

圖のみ].

pūrvakātma-bhāva (°ka-āt°) 團 漢訳 前生 Bodh-bh.

pūrvā-kāya 團 (動物の)身体の前部, (人の)上体.

pūrvā-kārin 團 第一に行動する; …に対して最初に奉仕する.

pūrvā-kārya 團 最初になされるべき.

pūrvā-kāla 團 以前に属する; 前に述べられた; 漢訳 先時, 古時, 昔, 昔時, 過去, 本, 昔者, 初 Bodh-bh., Mvyut.

pūrvā-kālatā 因 以前に属すること.

pūrvakāla-bhava 團 漢訳 過去有, 昔有, 本有, 先有 Abh-vy., Mvyut.

pūrvā-kālika 團 以前に属する.

pūrvā-kālina 團 以前の.

pūrvā-kuśala-mūla 團 漢訳 過去世善根(力), 往昔所種善根(力), 先…善根 Bodh-bh., Lanik.

pūrvā-kuśala-mūla-balādhāna (°la-ādh°) 團 漢訳 過去善根力, 過去(積集)善根力 Gaṇḍ-vy.

pūrvā-kṛta 團 以前になされた, 前生になされた; 漢訳 先所作, 宿命所行 Bodh-bh., Saddh-p. 團 以前の行動, 前生になした行為.

pūrvakṛta-karman 團 漢訳 先所作業, 本…所作業 Lanik.

pūrvā-koṭi 因 議論の出発点; 最初の陳述=pūrvapakṣa; 漢訳 前際, 先際, 本際, 前極 Lanik., Madhy-v., Mvyut., Śikṣ.

pūrvā-kramāgata (°ma-āg°) 團 祖先から伝えられた.

pūrvā-kriyā 因 準備.

pūrvā-ga 團 前に行く, 先行する; 漢訳 先 Sutr.

pūrvā-gaṅgā 因 [(東方の Gaṅgā 河), Narmadā 河または Revā 河の称].

pūrvā-gata 團 前に行った.

pūrvam-gama 團 先行する; (一°)を先行させる; 熱心に仕える (Diry.), …を首とする, …に支配された, …に指揮された; 漢訳 先, 為先, 最先, 前, 在前, 前行, 進行; 導, 前導, 為前導, 為先導, 導首, 上首, 為首, 為上首, 為導首; 導, 為導, 為導; 為(其)本 Aṣṭ-pr., Bodh-bh., Gaṇḍ-vy., Lal-v., Lanik., Mvyut., Sam-r., Śikṣ., Sukh-vy. I.; 等 Mvyut.: bodhi-citta~tā 大菩提心恒為導首 Bodh-bh. 291.

pūrvam-gamatva 團 漢訳 先導, 為上首 Bodh-bh., Daś-bh.

pūrvam-gamana 團 漢訳 為首 Sam-r.: kuśala-mūla ~ 修善為首 Sam-r. 5.

pūrvā-carama 團 漢訳 始終 Mvyut.

pūrvā-caryā-pariṇiṣpanna 團 漢訳 本修淨行円満 Aṣṭ-pr.

pūrvā-citti 因 [pūrvā-citti の誤(綴)].

pūrvā-citti 因 予感, 予想; [圖のみ] 最初の合図で, 直ちに; [(偏愛), ある Apsaras の名].

pūrvā-cittikā 因 [ある Apsaras の名].

pūrvā-citti 因 [同上].

pūrvā-cintana 團 以前の心配または心労..

pūrvā-codita 團 前に述べられた, 以前に規定された. pūrvā-coditatva 團 [同上 團].

pūrvā-ja 團 (他のものより)前に生まれたまたは生産された, 以前の, 昔の; 最初に生まれた, 年長の, 最年長の(息子・兄弟・姉妹); (一°)より以前の. 團 祖先, 先祖; 長子; 年長のまたは最年長の息子.

pūrvā-janma-kṛta 團 前生または以前の生存状態においてなされたまたは行なわれたまたは作られた.

pūrvā-janman 團 前生, 以前の生存状態; 漢訳 過去世, 宿生 Bodh-bh., Lanik. 團 (先に生まれた者), 兄 pūrvajanma-yoga 團 團 前の生存によってまたはの結果として.

pūrvajanmāvadāna 團 漢訳 本行因縁 Śikṣ.

pūrvā-jāta 團 漢訳 前生 Madhy-v.

pūrvā-jāti 因 =pūrvā-janman (團).

pūrvā-jina 團 漢訳 先仏, 過去仏 Lanik., Saddh-p. Sam-r., Sapt-pr., Siv-pr.

pūrvajina-kṛtādhikāra 團 漢訳 已曾供養諸仏, 已曾供養(無量)諸仏, 曾供養(無量)諸仏, 過去供養諸仏 過去已曾供養(無量)如來, 恭敬供養過去諸仏 Aṣṭ-pr., Gaṇḍ-vy., Lanik.

pūrvā-jñāna 團 前生の知識.

pūrvātana 團 前の, 先の.

pūrvātara 因 さらに以前の, 永い過去の; =pūrvā~m 團 久しい以前に; 漢訳 先 Bodh-bh., Śikṣ.

pūrvatas 團 前に, 前方に; 東方に, 東方に向って最初に.

pūrvā-taskara 團 前に賊であった者, 改心した盗賊 pūrvatā 因 (一°)に伴われた状態.

pūrvatra, [=pūrvā の 團, 團 ~janmani 前生にいて; ~dine 前日に]; 團 以前に, 前の部分で上記において (uttaratra の 團).

pūrvatva 團 先立つこと; 以前であること; 以前状態.

pūrvathā 團 以前に, 太古から; 以前のように; 最後に, 前に.

pūrvā-dakṣiṇa 團 (因-ā) 東南の; 漢訳 東南 Saddh-pūrvā-dakṣiṇa 因 漢訳 東南 Mvyut.

pūrvā-datta 團 以前に与えられたまたは贈られた.

pūrvā-darśana 團 [人名].

pūrvā-dig-bhāga 團 漢訳 東方分, 東方方処 Vijn-pūrvā-diś 因 東方, 東.

pūrvā-diṣṭa 團 前の行為によって決定された.

pūrvā-dikṣin 團 (二人またはそれ以上の者が同時に所において祭式を行なう場合)最初に Dikṣā の首を受ける.

pūrvā-dugdha 團 前に(搾乳されたすなわち)枯渇されたまたは掠奪された.

pūrvā-drṣṭa 團 前に見られた; 以前に見られた, の; 古くからまたは長い間(團)とみなされた.

pūrvā-deva 團 太初(の)神.

pūrvā-devatā 因 [同上].

pūrvā-deśa 團 東方; 東方の国; 因 ~e (因)の東 pūrvā-deha 團 以前の身体; 漢訳 前身 Sutr. 團

前の生存において.

pūrvā-dehika 團 前世になされた.

pūrva-daihika 図 [同上].
 pūrva-dvāra 田 漢語 東門 *Guh-y-s*.
 pūrva-dharma-sthititā 田 漢語 本住法, 本法体而住 *Laik*.
 pūrva-dhyāna 田 漢語 (音聲) 初禪 *Buddh-c*.
 pūrva-nipāta 男 文法 [ある語が(規則的にあるいは不規則的に)合成語の前分となること].
 pūrva-nimantrita 田 漢語 先受請, 請食 *Prat-m*.
 pūrva-nimitta 田 前兆 (*Lal-v.*); 漢語 前相, 先相, 本相, 瑞相, 前兆 *Ast-pr.*, *Lal-v.*: pañca ~ āni prādurbhavanti 先現五衰之相 *Dīvy.* 153.
 pūrva-nirmita 田 漢語 先時化, 在先化 *Laik*.
 pūrva-nivāsa 田 過去の生存 (*Dīvy.*); 漢語 宿住, 宿命, 宿世 *Abh-vy.*, *Gaṇḍ-vy.*, *Lal-v.*, *Meyut.*, *Sātr.* → pūrve-nivāsa.
 pūrvanivāsānumṣṭi 田 漢語 宿命通, 隨念宿住(智作証智) *Bodh-bh.*, *Dharm-s*.
 pūrvanivāsānumṣṭi-jñāna-bala 田 漢語 宿住隨念智力 *Dharm-s*.
 pūrva-nivṛta 田 (他の人によって)前に作られた.
 pūrva-nyāya 男 仮の判決.
 pūrva-pakṣa 男 前の部分または側; 陰暦の一ヵ月の前半(月が満ちつつある間); 一ヵ年の前半; (一見して証拠の十分な事件), 起訴者の最初の申し立て, 訴訟の第一段階; (相手の主張に対する)最初の異議 [*Mīmāṃsā* 派の論法]; 漢語 前品, 前宗, 前指 *Meyut.*, *Nyāy-pr.*; 因縁法, 先所説宗 *Laik*.
 pūrva-pakṣā 田 漢語 先觀待, 領於他法 *Laik*.
 pūrva-pakṣin 男 (相手の主張に対して)最初の異議を立てる.
 pūrva-pakṣi-Kṛ, 相手の主張に対して最初の異議を立てる.
 pūrva-paṭhita 田 漢語 先所誦 *Śikṣ*.
 pūrva-patha 男 以前の路, 前と同じ路.
 pūrva-pada 田 文法 合成語の前分.
 pūrva-padya 田 文法 合成語の最初の部分に属する.
 pūrva-parikarma-kṛta 田 漢語 宿業成熟 *Ast-pr*.
 pūrva-parikarman 田 漢語 宿業 *Ast-pr*.
 pūrva-parigraha 男 最初の要求, 優先権, 特権. 男 (圖)により特権として要求される.
 pūrva-paścān-mukha 田 (圖-i) 東と西とに流れる.
 pūrva-paścimatā 田 漢語 前後 *Abh-vy*.
 pūrva-pāda 男 前脚.
 pūrva-pādaka 田 漢語 初句, 順前句, 言合上 *Abh-vy.*, *Meyut*.
 pūrva-pitā-maha 男 前の祖父すなわち祖先.
 pūrva-piṭhikā 田 諸言; [*Duśakumāracarita* の序の名].
 pūrva-puruṣa 男 先祖 [漢語 祖先達], 父に始まる三代の祖先; [(原始の *Puruṣa*), *Brahman* 神の称].
 pūrva-puruṣopārjita (°ṣa-up°) 男 祖先によって集められた.
 pūrva-pūjita 男 前に捧げられた.
 pūrva-pūrva 男 先行する各々の, 先に述べられた各々の. 男 漢語 (古い)祖先.
 pūrva-pūrvatama 田 漢語 [同上 (圖)].

pūrva-pūrvokta (°va-uk°) 男 各々前に述べられた.
 pūrva-peya 田 先に飲むこと; 優先[一般に].
 pūrva-prajñā 田 過去の知識, 記憶.
 pūrva-praṇidhāna 田 漢語 本願, 本行願, 本願力, 宿願, 宿昔願力, 昔願(力) *Gaṇḍ-vy.*, *Laik.*, *Saddh-p.*, *Śikṣ.*, *Sukh-vy.* I., *Sātr*.
 pūrva-praṇihita 男 漢語 本願 *Laik*.
 pūrva-pratijñā 田 漢語 本願 *Lal-v*.
 pūrva-pratipanna 男 以前に…に賛成したまたは約束した.
 pūrva-pravṛtta 男 以前に起った.
 pūrva-prasthita 男 以前に出発した, 先に立って急ぐ.
 pūrva-preta 男 以前に去ったまたは飛び去った; 死亡した (*Dīvy.*). 男 國語 *Pitr*. 男 先祖の霊, 死んだ家族の霊 (*Ac-s.*); 漢語 先靈 *Lal-v*.
 pūrva-preta-pūjaka 男 祖霊を尊敬する (*Lal-v.*).
 pūrva-phalguni 田 [第十一月宿]; 漢語 [二十八宿の一]張 *Meyut*.
 pūrva-phālguni 田 漢語 [二十八宿の一]張, 前德 *Dīvy*.
 pūrva-bandhu 男 第一の十たわち最善の友.
 pūrva-buddha 男 漢語 (音聲) 先仏, 昔仏, 過去(諸)仏, 往昔(諸)仏 *Gaṇḍ-vy.*, *Laik*.
 pūrva-buddhādhyuṣita 田 漢語 過去諸仏所遊止処, 往昔諸仏曾所止住 *Gaṇḍ-vy*.
 pūrva-bhakta 田 漢語 前食, 食前 *Prat-m*.
 pūrva-bhaktikā 田 朝食 (*Dīvy.*); 漢語 小食 *Dīvy*.
 pūrva-bhādra-padā 田 = pūrva-bhādra-pada; 漢語 [二十八宿の一]室, 前賢迹 *Dīvy*.
 pūrva-bhava 男 前生; 田 漢語 前世世 *Saddh-p.* ~ eṣu 田 漢語 前世已曾 *Saddh-p*.
 pūrva-bhāga 男 前部, 上部; (一日中の)より早い部分 (=午前, 朝).
 pūrva-bhāj 男 最初の分け前を受ける, 特権のある; 優劣な; 先行したものに關する.
 pūrva-bhādra-pada 田 [第二十五星宿の名]; 漢語 [二十八宿の一]室 *Meyut*. → pūrva-bhādra-padā.
 pūrva-bhādra-padā 田 [同上].
 pūrva-bhāva 男 先であること, 先行, 先在.
 pūrva-bhāvin 男 先行する, 以前の.
 pūrva-bhāṣin 男 最初に語る, 懇切な.
 pūrva-bhukti 田 先に占有すること, 先のまたは永く続いた所有.
 pūrva-bhūta 男 前に在る, 先行した.
 pūrva-bhū-bhrt 男 (その背後から太陽の昇る)東方の山; 以前の王侯.
 pūrva-madhyāhna 男 午前.
 pūrva-mārin 男 (ある人より)前に死ぬ, 先立って死ぬ.
 pūrva-mimāṃsā 田 前期 *Mīmāṃsā* 派 [*Jaimini* によって基礎づけられた哲学体系で *Veda* 聖典とくに祭式に關して論究する; *Upaniṣad* 十たわち *Vedānta* の部分を論究する *uttara-m°* (後期 *Mīmāṃsā* 派)の通で, 通常 *Mīmāṃsā* 派とは *pūrva-m°* を指す].

pūrva-mukha ㊦ 東方に面する。

pūrva-yajña-vāṭa-prakṛta ㊦ 譯語 是昔施場、曾是
往古諸仙施場 *Gaṇḍ-vy.*

pūrva-yuga ㊦ 譯語 耆旧 *Buddh-c.*

pūrva-yoga ㊦ [*Pāli* pubba-yoga.] 前世の關係すなわ
ち前世の身または業との關係、前世の行為(とその成
果) (*Mah-v.*); 譯語 本事、本生、往古、往古学、本
生事、往昔事、本事相応、本事因縁、縁、昔因縁、
本所修行 *Gaṇḍ-vy.*, *Saddh-p.*, *Suv-pr.*

pūrvayoga-pratisamyukta ㊦ 譯語 先世相応、宿世
因縁 *Bodh-bh.*, *Saddh-p.*

pūrvayoga-saṃpanna ㊦ 譯語 方便具足、方便道
Gaṇḍ-vy.

pūrva-raṅga ㊦ (劇の)序幕、序曲。

pūrva-rāga ㊦ 最初のまたは燃え始めた愛情、以前の
事柄が原因となって生じた恋愛。

pūrva-rāja ㊦ 前王。

pūrva-rātra ㊦ 夜の最初の部分、初夜; 譯語 初夜、
上半夜 *Bodh-bh.*, *Lank.*, *Mvyut.*, *Śikṣ.*

pūrvārātrāpara-rātra ㊦ 譯語 初夜後夜 *Bodh-bh.*

pūrva-rūpa ㊦ (前の)顕現、前兆; (圖)の先駆者、
(prati)の確實な徴候; 二個の連接する要素の代りに
残る前の要素、例えば $o < -o a$ (区因); 譯語 前
相、前起相 *Abh-vy.* ㊦ 以前の形をもつ、前と同じ
な。

pūrva-rṣi (°va-rṣi) ㊦ 譯語 過去聖人 *Lank.*

pūrva-lakṣaṇa ㊦ 先行する徴候、前兆。

pūrvavat 1. ㊦ 前のように、以前のように; 前にい
われたように; 譯語 先、前、如前、同前、如上; 如
先説、如上説、如上所言 *Abh-vy.*, *Bodh-bh.*, *Madhy-
v.*, *Mvyut.*, *Nyāy-pr.*, *Śikṣ.*, *Sūtr.*

pūrvavat 2. ㊦ …に先立たれた、原因(から結果に至
る推測)を含んだ(議論)。

pūrvavattara ㊦ 以前の、前の。

pūrva-vayas ㊦ 人生の初期にある、若い。

pūrva-vayaska ㊦ [同上]。

pūrva-vartitā ㊦ 前にあること。

pūrva-vartin ㊦ (一)の前にある; 以前に存在す
る。

pūrva-vāda ㊦ (最初の)訴願、訴訟、告訴。

pūrva-vādin ㊦ 告訴者、原告。

pūrva-vid ㊦ 過去の事または出来事を知っている。

pūrva-videha ㊦ 譯語 [Dvipa の名] 東勝身、東神州、
東勝身洲、前離体 *Abh-vy.*, *Dharm-s.*, *Mvyut.*,
玄心; (㊦写) 東毗提訶、東(弗婆)提 *Dity.*, *Lal-v.*;
(㊦写) 弗婆提、弗于逮、弗婆毗提訶、遭利婆鼻提賀
玄心。

pūrva-videhaka ㊦ 譯語 東勝身人; (㊦写) 東毘提訶
人 *Abh-vy.*

pūrva-vidhi ㊦ 前の規則。

pūrva-vṛta ㊦ 以前に選ばれた。

pūrva-vṛtta ㊦ 前に起った; 前の事件に関する。㊦
前の事件、古い出来事; 前の行動。

pūrvavṛttānta ㊦ 譯語 昔時事、前所更事 *Abh-vy.*

pūrva-vairin ㊦ 最初に敵対を始める。

pūrva-śiṣya ㊦ 前のまたは古い弟子。

pūrva-śiṣyā ㊦ [同上]。

pūrva-śirṣa ㊦ (因-ā) 東に向いた頭または頂をもつ。
pūrva-śaila ㊦ 東方のまたは太陽の昇る山; ㊦ 譯語
[仏教部派の名] 東山部、東山家 *Mvyut.*

pūrvaśaila-saṃghārāma (°gha-ār°) ㊦ [ある仏教僧
院の名]。

pūrva-saṃcita ㊦ 前に集められた。

pūrva-sabhika ㊦ 賭博場の首長。

pūrva-samudra ㊦ 東方の海洋。

pūrva-sara ㊦ 前に行く、先行する; 東の。

pūrva-sāgara ㊦ 東方の海洋。

pūrva-sārin ㊦ 前に行く、秀でた。

pūrva-sāhasa ㊦ 第一のまたは最も重い科料または刑罰。

pūrva-siddha ㊦ 前に決定されたまたは樹立された。

pūrva-supta ㊦ 前にまたはすでに眠りにおちた。

pūrva-suhṛd ㊦ 永い間親しい。

pūrva-stha ㊦ 前に立った、秀でた。

pūrva-hetu ㊦ 譯語 前因、宿因、往昔因、先宿縁
Bodh-bh., *Buddh-ē.*

pūrvā ㊦ 東。

pūrvākṣara ㊦ 前に字を伴った。

pūrvāgni ㊦ 根源的のすなわち家庭的儀式的祭火。

pūrvāṅga ㊦ 前(生)の身体; 先行するものの構成部
分。㊦ (常用の暦月の)第一日。

pūrvācala ㊦ 東方のまたは太陽の昇る山。

pūrvācārya (°va-āc°) ㊦ 昔のまたは以前の師; 譯語
先旧師、前軌範師 *Abh-vy.*, *Prajñ-vy.*

pūrvādya (°va-ād°) ㊦ 東に始まる。

pūrvādri ㊦ = pūrvācala.

pūrvādhika ㊦ 前より大きな。

pūrvādhika-dyuti ㊦ 前より一層光り輝く。

pūrvādhyuṣita ㊦ 以前に住した。

pūrvānukrama ㊦ 連続。

pūrvānupūrva ㊦ 譯語 曾 *Sapt-pr.*

pūrvānubhūta ㊦ 前に経験した; 譯語 先所経、先所
受、本受用、曾所習行 *Lank.*, *Vijñ-t.*

pūrvānta ㊦ 先行する語の語尾; 予想; 譯語 前際、
先際、前辺、前極; 昔時、過去、過去世、先世; 前
本、甫 *Abh-vy.*, *Aṣṭ-pr.*, *Bodh-bh.*, *Gaṇḍ-vy.*,
Kāśy., *Lank.*, *Madhy-v.*, *Mvyut.*, *Sam-r.*, *Sapt-
pr.*, *Śikṣ.*

pūrvānta-koṭi ㊦ 譯語 過去際、過去世、往世 *Gaṇḍ-
vy.*, *Śikṣ.*

pūrvāntakoṭi-gata ㊦ 譯語 尽過去際 *Gaṇḍ-vy.*

pūrvānta-jñāna ㊦ 譯語 前際智 *Sam-r.*

pūrvāntatas ㊦ 前に (*Lal-v.*); 譯語 先世、於先世、
於先世中、於前世、常 *Aṣṭ-pr.*

pūrvānta-sūnyā ㊦ 譯語 前際空 *Madhy-vibh.*

pūrvāntāparānta-cyuty-upapatti ㊦ 譯語 前後致生、
前際後際没生、死此生彼 *Gaṇḍ-vy.*

pūrvāntika ㊦ (因-i) 譯語 前際 *Śikṣ.*

pūrvāpakārin ㊦ 以前に…に害を加えた。

pūrvāpara ㊦ 前後にある、前方と後方にむいた; 東
方と西方との; 初期と後期の; 先行し後続する、連
続した、相対的に関係のある; 譯語 前後、先後、ち
後 *Bodh-bh.*, *Madhy-v.* ㊦ 前後にあるもの、東と

西；関連。～eṇa 圓 順を追って (Av-ś).

pūrvāpara-dakṣiṇa 圓 東方・西方および南方の。

pūrvāpara-dina 田 午前と午後。

pūrvāpara-rātri 因 夜の前半と後半。

pūrvāpara-viruddha 因 前後相違 Bodh-bh.

pūrvāpari-bhāva 圓 連続。

pūrvā-bhādra-padā = pūrva-bhadra-padā.

pūrvābhībhāṣaṇa 因 漢訳 先意問訊 [Tib. gsoṅ por smra ba] Kāśy. : smita-mukha ~ tā 含笑先意問訊 Kāśy. 49.

pūrvābhībhāṣin 因 = pūrva-bhāṣin; 漢訳 先言, 先言問訊, 先意問訊 Bodh-bh.

pūrvābhīmukha 因 東方に向いたまたは流れる。

pūrvābhilāpita 因 漢訳 先以愛語 Śikṣ.

pūrvābhilāpin 因 漢訳 先言問訊, 先意問訊, 先語問訊, 先意慰問, 先發善言 Bodh-bh. Mvyut.

pūrvābhīṣeka 因 準備的灌頂の儀式。

pūrvābhyāsa 因 前のものの反復; 漢訳 先習, 宿習 Bodh-bh. 圓 再び新たに。

pūrvābhyāsatas 因 漢訳 宿習 Madhy-vibh.

pūrvābhyāsa-samutthita 因 漢訳 先習起 Bodh-bh. :

~m bijam 先習起種子 Bodh-bh. 401.

pūrvāmbudhi 因 東方の海洋。

pūrvārjita (°va-ār°) 因 前にまたは以前の仕事によって得られた。

pūrvārdha 因 田 (圓) 前部, 上部; 東側; 初めの半分。因 漢訳 上, 上半 Bodh-bh., Mvyut. ~m dinasya 一日の前半, 午前。

pūrvārdha-kāya 圓 上半身。

pūrvārdha-bhāga 圓 前部, (矢の)先端。

pūrvālāpin (°va-āl°) 因 漢訳 先意問訊 Av-ś.

pūrvāvadhīrita 因 前に輕蔑された。

pūrvāvaropita 因 漢訳 宿種 Śikṣ.

pūrvāvedaka (°va-āv°) 圓 原告。

pūrvāśā (°va-āśā) 因 東方; 東。

pūrvāśin (°va-āś°) 因 (還, 因) よりも先に食う。

pūrvāśādhā 因 [第十八または第二十の星宿]; 漢訳 [二十八宿の一] 箕, 前魚 Divy., Mvyut.

pūrvāhṇa 圓 午前 [一般に 因]; 漢訳 日初分, 初日分, 昼初分, 朝, 晨朝, 晨朝時, 食前, 未食之前, 早, 平旦, 清旦 Bodh-bh., Divy., Lal-v., Mvyut., Śikṣ., Sukh-vy. I., Śaṅ-pr., Vajr-pr., 梵維。

pūrvāhṇa-kāla-samaya 因 漢訳 日初分時, 初日分時, 日初時分, 晨朝, 晨朝時 Lal-v., Śikṣ., Sukh-vy. I., Vajr-pr.

pūrvāhṇika 因 (因-i) 午前に属する。田 朝の祭式または儀式。

pūrvika 因 以前に行なわれた, 古くから始まった (Kār-vy.); 漢訳 前, 依, 以為先 Bodh-bh., Mvyut., Sāmkhy-k.; 昔引過, 昔作過 Mvyut.

-pūrvin 因 漢訳 先 Abh-vy. → a ~.

pūrvī, [puru の 因]。

pūrveṇa 圓 圓 前 [圓, 圓 とともに] の前に, …の前で; …の東に。→ pūrva.

pūrve-dyus 圓 前日に, 昨日; 早朝に。

pūrve-nivāsa 圓 = pūrva-nivāsa; 漢訳 [Pali pubbe-

nivāsa.] 宿住 Bodh-bh. 389.

pūrve-nivāsānusrmṛti-jñāna 因 漢訳 宿住随念智, 知過去世, 宿命智, 宿住智, 宿命通 Bodh-bh., Mvyut.

pūrvenivāsānusrmṛtijñāna-bala 因 漢訳 宿住随念智力, 知過去世力, 宿住智力, 宿命智力, 知宿命力, 得宿命力 Bodh-bh., Mvyut.

pūrvenivāsānusrmṛtijñāna-sākṣāt-kriyā 因 漢訳 随念宿住智作証(通) Bodh-bh.

pūrvendra (°va-in°) 圓 昔の Indra 神。

pūrvokta (°va-uk°) 因 前に言われたまたは述べられた, 前述の; 漢訳 先説 Madhy-v.

pūrvocita (°va-uc°) 因 以前から慣れた, 古くから知られた。

pūrvottara (°va-ut°) 因 東北の [因 東北において]; 田 前と後との; 漢訳 東北 Abh-k.; 前後 Lanik.; 先者(滅)後(起) Sūtr.

pūrvottara-vacana-vyāghāta 因 漢訳 前後所説自相違, 所説前後相違 Lanik.

pūrvottara-virodha 因 漢訳 前後自相違 Lanik.

pūrvottarottara (°va-ut°, °ra-ut°) 因 漢訳 次第上上, 漸次増勝, 前後転進 Lanik.

pūrvotthāyin (°va-ut°) 因 (朝に)最初に昇る。

pūrvotthita (°va-ut°) 因 前にあがった(煙)。

pūrvotpatti (°va-ut°) 因 前に起る。

pūrvotpanna (°va-ut°) 因 前に起った; 漢訳 前生(身) Sāmkhy-k.

pūrvotpannatva (°va-ut°) 田 先であること。

pūrvopakārin (°va-up°) 因 以前に奉仕をした。

pūrvopanihita (°va-up°) 因 前に埋蔵された(宝)。

pūrvopapanna (°va-up°) 因 [恐らくは]以前の請求権をもつ。

pūrvopārjita (°va-up°) 因 以前に獲得された。

pūrvya 因 以前の, 昔の; 先行の, 最初の; 次の; 最も優れた, ~m 圓 以前に, 最初に, 久しい以前から。

pūla 圓 東; 圓 葉。

pūlaka 圓 [同上 圓]。

pūlā 因 漢訳 有帶靴, 短勒靴 Mvyut., 玄衣; 圓 羅, 布羅, 腹羅 玄衣。

pūlika 圓 東。

pūlikā 因 [同上]。

pūṣaṇa 圓 = pūṣan.

pūṣaṇvat 因 Pūṣan に伴われた。

pūṣan 圓 [Veda の神の名, 家畜の群を守り繁栄をもたらす神; 太陽の機能の一面を代表してあらゆるものを監視し, 旅行および次の世界に至る道の指導者とされる]; 太陽。

Pr 1., III. 田 piparti (因, 圓); VI. 田 prṇati (-te) (因); IX. 田 prṇāti (因). 満たす [圓 充ちる]; 空気をもって満たす, (圓)の中に吹き込む; 満たす, 集まらせる; 満足させる, 養う, 活気を与える; (圓)に豊富に授与する, (圓)を贈与する; (望みを)満たす; 漢訳 円満, 具足 Śaṅ-pr. 圓 prṇat 豊富に与える, 借気なく与えるすなわち借しまない, 気前のよい。IV. 田 [蓋譯 はまた 田] または 田 pūryate(-ti) (圓) で満たされる, …で満ちる。

過受分 [まれに] pūrta 満たされた；(圓)に満ちた；[一般に] pūrṇa (圓, 圓, 一)で満たされた, 満ちた [月(太陰)にも用いる]；完全な, 全体の, 満(數)；豊富な；十分に引かれた(弓, 矢)；満了した(時)；成就した(誓願)；充足された；設定された, 締結された(協定・契約)；満足させられた。便役 圓 pūrayati(-te) (圓)で満たす, 充滿する, (圓 音で)満たす, (音を)強める；空気で満たす, (螺貝を)吹く；(弓・矢を)十分に引く；(言語, 文章を)完全に, 補足する；(圓)で完全に覆う, …で圧倒する, …を注ぎかける；(圓 贈物)を豊富に与える, (圓)を贈る；(欲望・希望等を)満たす；(時期を)満了させる；**圓** 満, 令満, 成満, 具満, 円満, 令円満, 満足；盛；熱 *Daś-bh., Divy., Sutr., Suv-pr.*；修, 修行 *Suv-pr.*；張 *Divy.*：udakena pūrayitvā 盛水 *Suv-pr.* 173.；dhanuḥ pūrayitvā 張弓 *Divy.* 39.

ati- IV. 圓 atipūryati 大いに満ちる, あふれる。anu- 便役 圓 anupūrayati (欲望等)を満たす, …を達する；**圓** 充 *Daś-bh.*

abhi- IX. 圓 [三人 圓 圓 prñhi] 満たす。圓 abhipūryate (圓)で満たされる, …で満ちる。過受分 abhipūrṇa (圓, 圓, 一)で満たされた。便役 圓 abhipūrayati 満たす；積み込む；(圓)で圧倒する；(贈物)を豊富に与える, (圓)を惜気なく贈る；(苦痛などが)心を満たす；増大する；成就する。

ā- III. 圓 āpiparti 満たす；充足する, 完全に, (欲望を)満足させる；VI. 圓 満たされる；(圓)に飽満する。圓 āpūryate (圓, 圓)で満たされる, …で満ちる；(身体)の大きさを増す；(弓が)十分に引かれる；(圓)を豊富にもつ；**圓** 満, 遍 *Sutr.*

過受分 āpūrṇa 満ちた [月(太陰)にも用いる]；(圓, 一)で満たされた；(一)の響き渡った；満足させられた。便役 圓 āpūrayati(-te) 満たす, 充足する；(圓)で響き渡らせる；空気で満たす, (吹楽器を)吹く；(圓)で完全に覆う, ちりばめる；**圓** 普聞, 流布 *Suv-pr.*；吹 *Sukh-vy. I.*

anu-prā (anu-pra-ā)- 成就する 不定 anuprāpuritum = anuprapūrayitum または anuprāpunitum (Āp) の誤；**圓** 求, 逮 *Lal-v.*

sam-ā- 圓 samāpūryate (圓)で満たされる。過受分 samāpūrṇa 満, まる (一年)。便役 圓 samāpūrayati (圓)で満たす；(弓を)十分に引く。

ni- IX. 圓 °prñāti, °prñuyāt 注ぐまたは置く, 捧げる [祖靈祭に関する術語]。

niṣ- 過受分 niṣpūrta 注ぎ出された。

pari- 圓 paripūryate (圓)で満たされる, …で満ちる；**圓** 足, 増益, 増長 *Kāśy., Prāt-m.* 過受分 paripūrṇa 満たされた；(圓)で満たされた；(一)で覆われた；完全な, 全体の；富んだ, 豊富に所有する；充足された；達せられた(目的)。便役 圓 paripūrayati 満たす, 充足する；(圓)で響き渡らせる；(穴を)塞ぐ；完成する, 成就する；初めから終りまでなしとげる；**圓** 満, 円満, 成満, 能円満, 令満足, 称満, 悉令満足；具, 具足, 具足円満, 具足充滿；成就 *Abh-vy., Aṣṭ-pr., Av-ś., Bodh-bh., Daś-*

bh., Lal-v., Lank., Saddh-p., Śikṣ., Sukh-vy. I.

不定分 paripūrya **圓** 満足, 成満, 満中, 具足 *Av-ś., Saddh-p., Sam-r., Sapt-pr.* 便役 圓分 pa-pūrayat **圓** 満, 満足, 円満 *Aṣṭ-pr.* 便役 圓分 paripūrta (一)で満たされた；(一)を完全になしとげた；豊富な。

pra- IX. 圓 prapṛnāti 満たす, 完成する。圓 prapūryate 満たされる, 満ちる；飽きる；完全になる；充足される；**圓** 成就 *Suv-pr.* 便役 圓分 prapūrayati (圓)で満たす, …で充足する；(圓)で響き渡らせる；完成する；(贈物をもって 圓) 富ませる, …を豊富に与える；**圓** 円満, 遍満, 満足 *Gand-vy., Guhy-s.*；吹 *Lal-v., Saddh-p.*：prapūrayiṣyaty ayam dharma-śaṅkhaṃ 吹法螺 *Saddh-p.* 421. 便役 圓分 prapūrta (一)で満たされた, …で満ちた。

prati- 過受分 pratipūrṇa 満ちた [月(太陰)にも用いる]；(圓, 一)で満たされた, …で満ちた；満足した。便役 圓分 pratipūrayati 満たす, 充足させる；(人)を満足させる；成就する；**圓** 円満 *Aṣṭ-pr.* sam- 圓 sampūryate 満ちる。過受分 sampūrṇa 満ちた [月(太陰)にも用いる]；(圓, 圓, 一)で満たされた, …を完備した, …で充滿した；完全な, 全体の；豊富な；多くを所有する；充足された。便役 圓分 pūrayati 充足する；(欲望を)満たす, …を満足させる。

Pr 2., III. 圓 piparti (圓)。 (圓)を越えてまたはの方にもたらず；(圓)から救出する；保護する；助長する, 支持する；(人)を凌駕する；(不定)することができる。便役 圓 圓 [敬語 はまこ 圓] pārayati(-te) 越えて導くまたはもたらず；(圓)から救出する；保護する, …の生命を保つ；越える, 打ち勝つ；(圓)に抵抗する；(不定)することができる [この 圓 が 圓 [pāryate] の場合には 不定 は 圓 の意味]。

ati- (圓)を越えてもたらすまたは導く；(約束を)遂行する, 履行する。便役 圓 atipārayati …を越えて導くまたはもたらず；圓 atipārayate (圓)から救出する。

niṣ- (圓)から救出する, …から助ける。便役 圓 niṣpāraya [同上]。

sam- 便役 sampāraya- 成就する。

Pr 3., [ā とともにのみ用いる]。

ā- V. 圓 āprñoti (圓)に忙しい。過受分 āprta 多忙な。

vy-ā- V. 圓 vyāprñute. 圓 vyāpriyate (-artham) のために忙がしい。過受分 vyāprta (圓, 一 -artham, -hetos)で多忙な, …に従事した。便役 圓 vyāpārayati (圓, 圓)に, -artham のために) 従事させる, 多忙ならしめる, 使役する；…へ(視線を)向けさせる；**圓** 助, 當助 *Bodh-bh. vāṇim vyāpārayati* 声を出す, hastam vyāpārayati 手を振る。便役 過受分 vyāpārta (-artham) …に従事したまたは任命された。

prkṣa 過受分 → Prc.

prkṣ 圓 慰め, 栄養物。

prkṣa ㊦ 斑点のある、斑らの；[註釈家によれば] 食物を供給された。㊦ 斑点のある馬；[人名]。
prṅga [また brṅga] ㊦ 縹緋 [Tib. dar ri mo can] Mvyut.

Prç, VII. prṇakti, prṇkte (㊦)；III. ㊦ piprgdhi (㊦, まれに ㊦) と混ざる, 混合する, 結合する, 連接する；満たす, 満たさせる；(㊦) のために (㊦, ㊦) を豊富に与える；増大する。㊦ 受分 prkta (㊦, 一) と混じた, 結合した, 接触した；(㊦, 一) で満たされた, …で満ちた。

ā- 行きわたる；(㊦) と混合する。

upa- ㊦ に付加する；増加する；(㊦) に接近する。

sam- ㊦ 混ざる, 結合する, 触れる；(㊦) を与える；㊦ および ㊦ 混合される, 結合される, 接触する。㊦ 受分 sampṛkta (㊦, 一, まれに ㊦) と混合した・結合した・触れた または 接触した；(㊦) で満たされた。

prccha, [Prach の ㊦ 翻]。

prcchaka ㊦ (㊦) について尋ねる, 問う；㊦ 能発問者 Saddh-p.

prcchamāna ㊦ 分 → Prach.

prcchā ㊦ (一) に対する質問, (一) についての容問；未来に関する探求；㊦ 問 Aṣṭ-pr.

prṇat ㊦ 分 → Pr 1.

prt ㊦ 闘争, 戦争 [㊦ ㊦ のみ]。

prtana ㊦ 敵の軍勢。

prtanā ㊦ 戦闘, 戦争；敵の軍勢；軍隊；とくに軍団 [243 頭の象・243 の戦車・729 人の騎兵および 1215 人の歩兵からなる]。

prtanā-jit ㊦ 戦いに勝つ。

prtanā-nirmathana ㊦ 軍隊の破壊。

prtanā-nī ㊦ 軍の統率者, 指揮者。

prtanā-pati ㊦ [同上]。

prtanāya ㊦ 名動 [㊦ 分 prtanāyat のみ]。

prtanāyat ㊦ 分 戦う, ㊦ 敵。

prtanā-śah ㊦ [㊦ 翻 -śāh] 敵の軍勢を征服する。

prtanya ㊦ 名動 ㊦ prtanyati …と戦う, 襲撃する。

㊦ 分 prtanyat 戦う。

prtanyat ㊦ 分 → prtanya. ㊦ 敵。

prtanyu ㊦ 襲撃する。㊦ 敵。

prtha ㊦ 手のひら(掌)；[長さの単位=13 aṅguli]。

prthak ㊦ [広くまたは別々に向けられた：Prath+añc の ㊦] 離れて, 別々に；各自に [しばしば反覆して用いる]；㊦ 別, 各別, 分別, 各各, 独, 離, 異 Abh-k., Abh-vy., Bodh-bh., Bodh-c., Lan̄k., Madhy-vibh., Prajñ-h., Śikṣ., Sūtr., 梵千., 梵離：～g …niveśita 別為, 分立 Abh-k. ㊦ [㊦ とともに] …なしに；除いて。～Kṛ 分かつ；切り離す；(㊦) からそらす。～vi-Kṛ ㊦ 裂 Av-ś. ～g BHū 分離する, 独特である (Divy.)。㊦ 受分 prthagbhūta 分離した, 異なった。

prthak-kāraka ㊦ ㊦ 散 Mvyut.

prthak-kārya ㊦ 別々の仕事, 私事。

prthak-kṛti ㊦ 個人。

prthak-kriyā ㊦ 分離。

prthak-kṣetra ㊦ ㊦ (同父)異母から生まれた(子供

等)。

prthak-ceṣṭā ㊦ 種々異なった活動。

prthaktā ㊦ 別異；分離, 別個；個性。

prthaktva ㊦ [同上]；㊦ 異, 異性, 異法, 異相, 別, 別異, 別体, 異体, 各別 Lan̄k., Madhy-v., Madhy-vibh., Mvyut., Vaiś-s. ㊦ ～ena 個々に, 一つ一つ。

prthak-pada ㊦ 単独の(合成しない)語からなる。

prthak-piṇḍa ㊦ (他の親族と共同しないで)別々に Śrad̄dha 祭の供物を捧げる(遠い親族)。

prthak-prthak ㊦ ㊦ 各, 各各, 各別 Abh-k., Abh-vy., Saddh-p.

prthakprthag-bhāva ㊦ ㊦ 異, 異相 Madhy-v.

prthak-śabda ㊦ 個々のまたは独立した語。

prthak-śayyā ㊦ 独りで眠ること。

prthak-sukha ㊦ 別々の喜びをもつ。

prthak-sthiti ㊦ 別々の存在, 分離。

prthag-artha ㊦ 別々の利益をもつ；個々別々の意味をもつ。

prthag-arthatā ㊦ 別々の意味。

prthag-ālaya ㊦ ㊦ 別々の住居をもつ。

prthag-upādāna ㊦ 別々に挙げること。

prthag-gaṇa ㊦ 別々のまたは別個の群。

prthag-gotra ㊦ ㊦ 異なった氏族に属する。

prthag-jana ㊦ 低い階級の人；㊦ ㊦ 民衆；㊦ 凡, 凡夫, 凡人, 凡夫人, 凡愚, 愚癡凡夫, 愚夫, 異生 (類) Aṣṭ-pr., Bodh-bh., Divy., Lan̄k., Madhy-bh., Madhy-vibh., Sapt-pr., Śikṣ., Sūtr., Vajr-pr., 梵千。

prthagjana-kalyāṇaka ㊦ 宗教的向上を求めて努力する凡夫 (Divy.)；㊦ 賢善異生 Bodh-bh.

prthag-janatya ㊦ ㊦ 凡夫, 凡夫性, 異生性, 愚癡 Abh-vy., Rāṣṭr.

prthagjana-dharma ㊦ ㊦ 異生法 Sapt-pr.

prthagjana-bhūmi ㊦ ㊦ 凡夫地, 異生地 Aṣṭ-pr.

prthagjana-rati ㊦ ㊦ 異生事 Aṣṭ-pr.

prthag-janavat ㊦ 低級な人のように。

prthag-jaya ㊦ 決闘における勝利。

prthag-jāti ㊦ ㊦ 異趣 Buddh-c.

prthag-dṛś ㊦ …を(㊦) とは異なったものと見る。

prthag-dvāra ㊦ ㊦ 特別の門 すなわち達成の方法・手段。

prthag-dharma-vid ㊦ ㊦ 各々が異なった法規を知っている。

prthag-nirodha ㊦ ㊦ 前後滅, 相離尽 Abh-vy.

prthag-bhāva ㊦ 別個の状態, 分離, 差異, 相違；㊦ 異(相) Madhy-v.

prthag-bhūta ㊦ 別々の, 異なった；㊦ 差別, 独住, 各处而住 Abh-vy., Śikṣ.

prthag-yoga ㊦ ㊦ 異なった運命をもつ [恐らくは -bhoga または -bhāga の不確]。

prthag-rasamaya ㊦ (㊦ -i) 異なったまたは特別の樹液・エキスからなる。

prthag-lakṣaṇa ㊦ 異なった特質をもつ。

prthag-vartman ㊦ 種々の道程をもつ。

prthag-varṣa ㊦ ㊦ 各別の一年, 毎年。

prthag-vidha 形 種々の, 多様の, 様々の; (因) より異なる; 漢訳 種々別, 各差別 Bodh-bh., Śikṣ.

prthañ-niṣṭha 形 各別に存在する, 各々異なったものとしてある.

prthā 因 [Pāṇḍu の妻の一人の名 = Kuntī].

prthā-janman 因 [Prthā の息子, Yudhiṣṭhira の(母系)].

prthā-tanū-ja 因 [Prthā の息子, Arjuna の(母系)].

prthātma-ja' (°thā-āt°) 因 = prthā-janman.

prthā-bhū 因 [同上].

prthā-suta 因 = prthā-tanū-ja.

prthā-sūnu 因 [同上].

prthivi 因 [= prthu + i] (広い)大地, 地界 [因 では三重の地界を説く]; (神格化した)大地; 国土, 領域; 地面; (dhātu '要素' としての)地; 漢訳 地, 大地, 大地土, 国 Abh-k., Abh-vy., Bodh-bh., Lank., Madhy-bh., Mvyut., Rāṣṭr., Saddh-p., Sapt-pr., Śikṣ., Sūtr., Sv-pr., Vaiś-s., 梵千., 梵維.: ~ vyāp pratiṣṭhāpya 著地 Sv-pr. 57.

prthiv-kampa 因 地震; 漢訳 地動, 大地震動 Sv-pr.

prthivi-kṛtsna 形 漢訳 地遍(処定) Gaṇḍ-vy.

prthivikṛtsnāyatana (°na-āy°) 因 漢訳 地遍処, 地遍処(定) Mvyut.

prthivi-kṣit 形 大地に住む; 大地または国土を支配する. 因 王侯, 王.

prthivi-candra 因 [Trigarta の王侯の名].

prthivi-cara 因 漢訳 地居 Mañj-m.

prthivi-cāla 因 漢訳 地動, 地震動 Bodh-bh., Sapt-pr.

prthivi-tala 因 大地の表面, 地面; 世界, 地獄(地の底).

prthivi-tirtha 因 [聖地の名].

prthivi-daṇḍa-pāla 因 国の司法長官.

prthivi-daṇḍa-pālātā 因 国の司法長官の職務.

prthivi-devatā 因 漢訳 地神, 主地神, 地天 Gaṇḍ-vy., Sv-pr.: dṛḍhā ~ 地神堅牢, 堅牢地神衆 Sv-pr. 4.

prthivi-devi 因 [人名].

prthivi-dhātu 因 漢訳 地界, 地種, 地大, 土地, 大地 Abh-k., Aṣṭ-pr., Lank., Madhy-v., Mvyut., Saddh-p., Śikṣ.

prthivim-dadā 因 [ある Gandharva 女の名] (Kār-vy.).

prthivi-pati 因 大地の主, 王侯, 王.

prthivi-paripālaka 因 王侯, 王.

prthivi-parpatāka 因 [食用きのこの一種]; 漢訳 地餅, 地膏 Mvyut.

prthivi-pāla 因 大地の守護者, 王, 王侯.

prthivi-pālaka 因 [同上].

prthivi-pradeśa 因 漢訳 処, 方処, 地方, 地方処, 地方所, 方地, 国土 Aṣṭ-pr., Divy., Lank., Rāṣṭr., Saddh-p., Śikṣ., Vajr-pr.

prthivi-bhuj 因 大地の享受者, 王侯, 王.

prthivi-bhujamga 因 大地の愛人, 王侯, 王.

prthivi-bhṛt 因 (地を支える), 山.

prthivi-maṇḍa 因 漢訳 地醞醐 Mvyut.

prthivi-maṇḍala 因 または 因 漢訳 国境, 国界, 方域 Bodh-bh.

prthivimaya 因 大地からなる, 地の.

prthivi-rajās 因 漢訳 地塵, 大地微塵 Vajr-pr.

prthivi-rasa 因 漢訳 地肥, 沃壤, 豊壤 Sv-pr.; 地味, 饒地, 饒地精 Mvyut.: ~ ena vivardhayiṣyati 豊壤倍常 Sv-pr. 114.

prthivi-rājya 因 国土の主権, 王権, 王国.

prthivi-ruha 因 (地から生ずる), 植物, 樹木.

prthivi-vajra 因 漢訳 [菩薩の名] 金剛地 Guhy-s.

prthivi-vara-locana 因 [菩薩の名] (Kār-vy.).

prthivi-vivara-samudgama 因 漢訳 從地涌出 Saddh-p.

prthiviśa (°vi-īsa) 因 大地の主, 王侯, 王.

prthiviśvara (°vi-īś°) 因 [同上]; 漢訳 人王, 国君 Lal-v.

prthivi-saṃjñā 因 漢訳 塵想, 地想 Bodh-bh., Divy.

prthivy-āpiḍa (°vi-āp°) 因 [Kashmir の二人の王侯の名].

prthivy-upasaṃkramaṇā (°vi-up°) 因 [ある Kinnara 女の名] (Kār-vy.).

prthivy-ojas (°vi-oj°) 因 漢訳 地精, 湿地 Mvyut.

prthu 因 (因 -vi および 因 -u) 広大な, 広い, 広々とした, 大きい, 偉大な; 豊かな; 豊富な; 広範囲の, 多様の, 数多の; 詳細な; 漢訳 広, 広大, 広博, 寛; 大; 長; 勝; 衆 Aṣṭ-pr., Bodh-bh., Gaṇḍ-vy., Mvyut., Śikṣ. 因 [長さの単位 (= prtha)]; [Śiva 神の称]; [Viśve Devāḥ の一神の名]; [ある Dānava の名]; [諸人の名]; 漢訳 置写 [王の名] 卑儼(王) Buddh-c.

prthuka 因 因 半熟で粗く搗き碎かれた米, 因 男の子; 動物の子.

prthu-kirti 因 名声の拡がった.

prthu-kucotpiḍam (°ca-ut°) 因 盛り上った(少女の胸を押しつけて).

prthu-cāru-maṇḍala-gātra 因 漢訳 身支広妙円満, 身肢奇妙, 妙広狭相称, 身潤沢 Mvyut.

prthucārumaṇḍalagātrātā 因 漢訳 (膝)輪(堅固)処好莊嚴好 Dharm-s.

prthu-cārv-añcīteṣaṇa (°ta-ik°) 因 広く美しく弓なりに曲った目をもつ.

prthu-jaghana 因 広い腰をもつ.

prthutara 因 非常に広い, 大きい.

prthutari-Kṛ, (目を)さらに大きく開く.

prthutā 因 大きいこと, 偉大, 広さ.

prthutva 因 [同上].

prthu-daṃṣṭra 因 大きな歯(牙)をもつ.

prthu-datta 因 [ある 蛙の名].

prthu-darśin 因 先見の明ある.

prthu-dharaṇi-dhara 因 [Viṣṇu 神の称].

prthu-dhāman 因 広く輝く, すばらしい.

prthu-dhāra 因 広い刃をもつ.

prthu-parśu 因 広やかな肋骨をもつ.

prthu-pāṇi 因 広い手をした (Savitṛ 神).

prthu-prajña 因 広い知識をもつ; 漢訳 広慧(者), 慧

広, 勝智慧, 利根(之人) *Bodh-bh., Mvyut.*

prthu-pratha 図 名声の広がった.

prthu-protha 図 広い鼻孔をもつ(馬).

prthu-bāhu 図 腕の太い.

prthu-bhuvana 田 広い世界.

prthu-mrdvikā 図 [恐らくは]乾葡萄.

prthu-yāśas 図 名声の広がった.

prthu-rāṣṭra 田 廣博国 *Gaṇḍ-vy.*

prthula 図 広い, 大きな.

prthu-lalāṭa 図 廣闊 [三十二相の一]額広平正, 額寛

平正 *Gaṇḍ-vy., Mvyut.*

prthulalāṭatā 図 廣闊 額広平正好 *Dharm-s.*

prthula-vakṣas 図 広い胸をもつ.

prthula-vikrama 図 非常に勇敢な.

prthulākṣa 図 [王侯の名].

prthu-locana 図 大きな眼をもつ.

prthulaujas (°la-oj°) 図 大きな精力をもつ.

prthu-vakṣas 図 広い胸をもつ.

prthu-vṛddhi-vaipulyatā 図 廣闊 増長広大 *Bodh-bh.*

prthu-yega 図 [王侯の名].

prthu-vaipulya-prāpta 図 廣闊 深広流布 *Aṣṭ-pr.*

prthu-vyāmsa 図 広い肩をもつ, 肩の広い.

prthu-sīras 図 広いまたは平たい頭をもつ, 頭の広い
または平たい.

prthu-śravas 図 名声の広がった. 図 [諸人の名];
[ある Nāga の名]; [Skanda の従者の名]; [北方で
大地を支える神話的な象 (dinnāga) の名].

prthu-śrī 図 非常に繁栄した, 極度に幸運な.

prthu-śroni 図 図 大きな腰をもつ.

prthu-śroni 図 図 [同上].

prthu-seṇa 図 [諸人の名].

prthu-ṣṭuka 図 大きな髪の房をもつ(馬).

prthu-sāmpad 図 極めて富んだ.

prthūdaka 田 [聖地の名]. 図 [±svāmin] [ある註釈
家の名].

prthūdara 図 [(広大な腹をもつ), ある Yakṣa の名].

prthvi 図 [prthu-i] (広い)大地; 国土, 領土; 地面;
(dhātu '要素' としての)地; [韻律の一種 (4 × 7 音
節)]. → prthivi.

prthvi-khāta 田 洞窟または地の穴.

prthvi-garbha 図 [ある菩薩の名].

prthvi-grha 田 地中の住家, 洞窟.

prthvi-tala 田 地表, 陸地.

prthvi-daṇḍa-pāla 図 国の司法長官.

prthvi-daṇḍa-pālātā 図 国の司法長官の職務.

prthvi-dhara 図 (大地を支える)山.

prthvi-pati 図 大地の主, 王侯, 王.

prthvi-patitva 田 主権.

prthvi-pāla 図 [人名].

prthvi-prasāstr 図 王.

prthvi-bhuj 図 大地の享受者, 王侯, 王.

prthvi-bhṛt 図 大地の保持者, 王侯, 王.

prthvi-rājya 田 国土の主権, 王権.

prthvi-rūpa 図 [王侯の名].

prthviśa (°vi-īśa) 図 大地の主, 王侯, 王.

prthvi-hara 図 [人名].

prdāku 男 まむし(瓊), 蛇.

prśana 田 [Sprś] 愛撫.

prśani 図 [Sprś] 愛撫, 誘惑; 媚態を呈する女.

prśni 図 斑らの, 斑点のある(とくに牝牛); 図 多様
な. 図 [王侯の名]; 図 [聖仙の家系の名]. 図 斑点
のある牝牛; 乳; 大地; 雲; 星の多い空; [Marut
の母の名]; [Savitṛ の妻の名]; [圖 ではこの語は
固有名詞としてのみ出る].

prśni-garbha 図 [Viṣṇu-Kṛṣṇa 神の称].

prśnimat 図 prśni の語を含んだ.

prśni-mātṛ 図 大地または Prśni を母とする.

prṣat 図 図 (<Prś 振りかける, そそぐ) 図 (図 -i) 斑
らの, 斑点のある(図). 図 斑点のある羚羊. ~āp
patih 男 斑点のあるもの(雲)の主, 風.

prṣata 男 斑点のある羚羊; 水滴; 斑点.

prṣati 図 斑点のある牝牛; 斑点のある牝馬; 斑点の
ある羚羊の雌.

prṣatka 図 (雑色の), 矢.

prṣad-aśva 図 斑点のある馬をもつ (Marut 神)(RV.).

図 風 [また人格化して用いる].

prṣad-ājya 田 斑らのあるバター, 凝乳と混合したバ
ター.

prṣad-varā 図 [Menakā の娘, Ruru の妻の名].

prṣātaka 男 田 = prṣad-ājya. 男 [儀式の一種 (圖)];
[Rudra 神の称].

prṣodara (°śa-ud°) 図 斑らの腹をもつ.

prṣṭa 図 受分 問われた, 質問された; 要請された.

→ Prach. 問, 已問, 請問 *Abh-vy., Bodh-
bh., Lanik., Sapt-pr.* → a ~.

prṣṭa-prativacana 田 質問に答えること.

prṣṭamāna, → sākṣi ~ m.

prṣṭavat 図 能分 質問した.

prṣṭābhidhāyin 図 問われた時に答える, 常に答え
を用意した.

prṣṭi 図 肋骨.

prṣṭha 田 [pr-ṣṭha, cf. pra-sṭha, 突起した(背)?](動物
の)突起した背; 背; 上側, 表面; 高処, 隆起線,
頂; 背部, 後部; [Stotra の一種 (種々の Sāman
からなり, 日中の Soma 压榨に用いられる)]; 廣闊
背, 背後, 後; 終; 後起 *Abh-vy., Av-ś., Bodh-bh.,
Bodh-c., Divy., Mvyut., Śikṣ., 梵千., 梵維.* → aśva
~. 図 (圖) の背で, 後部からまたは後で, 後に.
~m Dā 深くお辞儀をする. ~ena Yā (圖) に乗っ
て行く. ~ena Vah 背で運ぶ.

prṣṭhaka 田 背. ~e Kṛ ...を後に置く, 無視する; 放
棄する.

prṣṭha-ga 図 (圖, 一°) に乗って行く.

prṣṭha-gāmin 図 随行する, 帰依した, 忠実な.

prṣṭha-gopa 図 後部の守護者.

prṣṭha-tap 図 (太陽で)背を焦がす.

prṣṭhataṣ 圖 圖 背の上に, 背に; 背後から; 後方に;
(圖, 一°) の背後に; 背を向けて = 顔を背けて; 背
後で, 秘密に; 廣闊 後, 在後, 従後, 随; 密 *Aṣṭ-
pr., Cat-ś., Divy., Mvyut.*: ~to 'nubaddhā 常隨
侍, 侍衛其後 *Saddh-p.* 288. ~taḥ Kṛ 背に載せ
る; 背を向ける; 背後に置く; 放棄する, 無視す